BUFFALO 35010450 ver.04 4-01 C10-014

リンク シアター
LinkTheater™

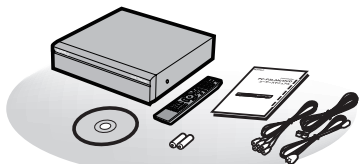
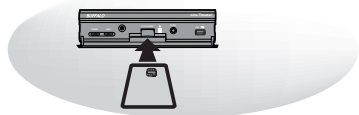
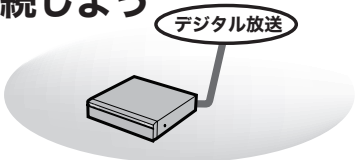
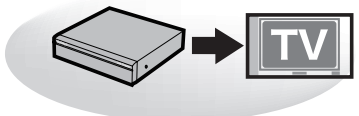
地上/BS/110度CS デジタル放送対応 ビデオプレーヤー

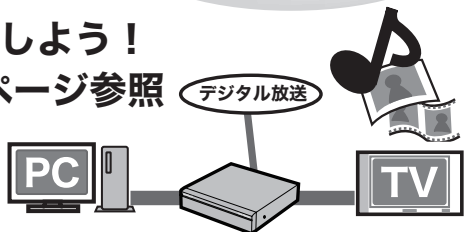
LT-H90DTV シリーズ

ユーザーズマニュアル

セットアップのながれ

LinkTheater LT-H90DTVシリーズ

梱包物を確認しよう！
９ページ参照

B-CASカードをセットしよう！
18ページ参照

本製品をアンテナに接続しよう
19ページ参照

本製品をテレビに接続しよう！
20ページ参照

本製品をネットワーク(パソコン)に接続しよう！
23ページ参照

視聴/録画/再生しよう！
29、32、56ページ参照

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク.................⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意してすべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク........次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

文中［　］で囲んだ名称は､ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー､ボタン､チェックボックスなどの名称を表しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ **危険**	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△⃠●の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 危険

禁止

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 分解、改造しない。
- 電極の（＋）と（－）を針金等の金属で接続しない。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- 火の中に入れたり、過熱したりしない。
- 釘を刺したり、かなづちでたたいたり、踏みつけたりしない。

以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをする危険があります。

禁止

電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。

電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところで保管・使用するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

禁止

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 分解・改造・修理・充電しない。
- 使用した電池と未使用の電池、種類の異なる電池、異なるメーカーの電池を混在して使用しない。
- 電極の（＋）と（－）を間違えて挿入しない。
- 消耗しきった電池を入れたままにしない。

以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをすることがあります。

禁止

電池内部の液が漏れたときは、液に触れないでください。

やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

強制

電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。

指定以外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

⚠ 警告

禁 止

AC100V(50/60Hz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強 制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁 止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強 制

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

強 制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

強 制

電源ケーブル（または AC アダプター）、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。

本製品付属以外の電源ケーブル（内部接続用を含む）、AC アダプター、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 注意

強 制

本製品を長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲が汚れるなどの原因になります。

禁 止

液漏れの発生した電池は使用しないでください。

そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

強 制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

⚠ 注意

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
- 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ　→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータを MO ディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

各接続コネクターのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクターには手を触れないでください。

故障の原因となります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは､乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は､きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

はじめに

接続・準備

デジタル放送

ファイル再生

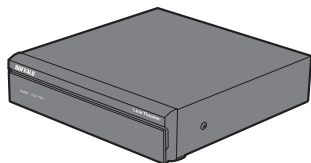
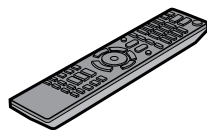
付録

はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。確認した項目には✓をつけてください。
万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

□ LT-H90DTV（本体）............1 台

□ 電源ケーブル（1.8m）...........1 本

□ LAN ケーブル
（ストレート /2m）.........................1 本

□ ビデオ / オーディオケーブル
（1.5m）...1 本

□ リモコン......................................1 個

□ 単四形乾電池 (リモコン用)..2 個

□ ユーティリティー CD..............1 枚

☑ユーザーズマニュアル（本書)..1 冊

□ はじめにお読みください...............1 枚

□ B-CAS（ビーキャス）カード ....1 枚

□ B-CAS
「ファーストステップガイド」.........1 冊

LT-H90DTV-AV をお買い求めのかたへ
LT-H90DTV-AV では、上記に加え、**「HDMI ケーブル ...1 本」**が付属しています。

次のページへ続く

B-CAS カードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。B-CAS カードはユーザー登録することをおすすめします (登録は任意で無料です)。B-CAS カードの台紙にある「ユーザー登録はがき」を送っていただくか、ホームページ (http://www.b-cas.co.jp/) から登録できます。

また、本製品の修理をご依頼いただく際は、製品と一緒に付属の B-CAS カードも BUFFALO 修理センターへお送りください。

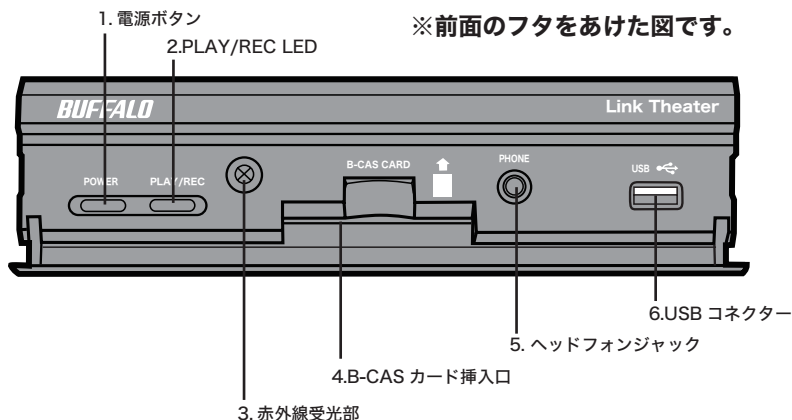
※付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取り換えください。

※本製品の保証書は、「はじめにお読みください」に印刷されています。修理の際は必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名前と機能

本体およびリモコンの、各部の名前と機能を説明します。

本体前面

1. 電源ボタン

電源の ON/OFF を切り換えます。

メモ　電源ボタンは電源 OFF 時に橙色に点灯し、ON 時は青色に点灯します。

2. PLAY/REC LED

再生中、緑色に点灯します。
録画中は赤色に点灯します。

3. 赤外線受光部

リモコン信号の受光部です。

※受光部の前に物を置くなど、信号を遮らないでください。

4. B-CAS カード挿入口

付属の B-CAS カードを挿入します。

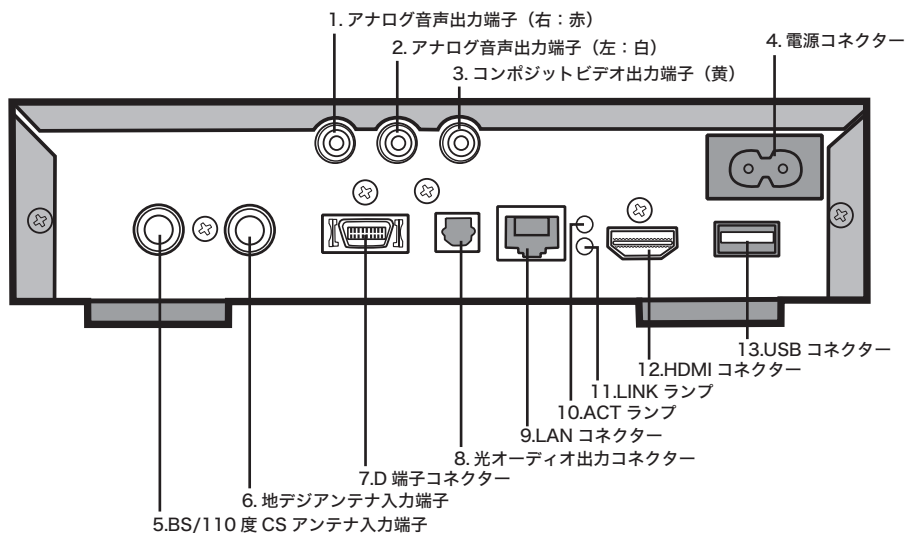
5. ヘッドフォンジャック

市販のヘッドフォン (Φ 3.5mm ステレオミニプラグ) を接続できます。

※ヘッドフォンで使用する前に音量が適切であるかご確認ください。大音量でヘッドフォンを使用しないようご注意ください。

6. USB コネクター (シリーズ A)

ハードディスクやフラッシュメモリー、カードリーダー、デジタルカメラを接続できます。

本体背面

1.　アナログ音声出力端子（右：赤）
付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

2.　アナログ音声出力端子（左：白）
付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

3.　コンポジットビデオ出力端子（黄）
付属のビデオ / オーディオケーブルを接続します。

4.　電源コネクター
付属の電源ケーブルを接続します。

5.　BS/110 度 CS アンテナ入力端子
BS または 110 度 CS デジタル放送対応のアンテナと接続します。市販の F 型コネクターアンテナケーブルを別途ご用意ください。

6.　地デジアンテナ入力端子
地上デジタル放送対応のアンテナと接続します。市販の F 型コネクターアンテナケーブルを別途ご用意ください。

7.　D 端子コネクター
市販の D 端子ケーブルを接続します。

8.　光オーディオ出力コネクター
市販のデジタル音声ケーブル（光角型コネクター）を接続します。

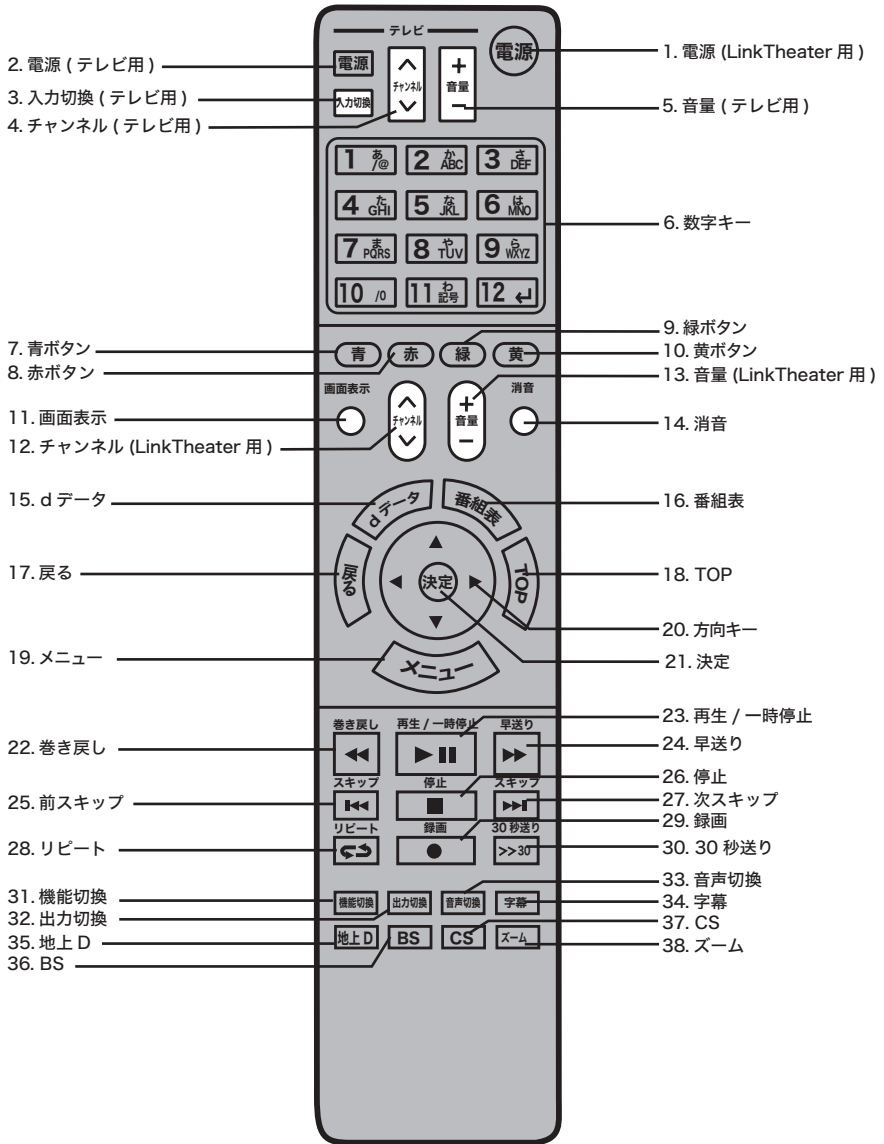
9.　LAN コネクター
LAN ケーブルを接続します。

10. ACT ランプ
データ送受信時に緑色に点滅します。

11. LINK ランプ
10/100M LINK 時に緑色に点灯します。

12. HDMI コネクター
市販の HDMI ケーブルを接続します。

13. USB コネクター（シリーズ A）
ハードディスクやフラッシュメモリー、カードリーダー、デジタルカメラを接続できます。

リモコン

次のページへ続く

1.　電源 (LinkTheater 用)

LinkTheater の電源 ON/ スタンバイ状態を切り換えます。また、地上デジタル放送録画時に押すと、録画終了後にスタンバイ状態へ移行することもできます (スタンバイ状態からの録画予約時は除く)。

2.　電源 (テレビ用)

テレビの電源 ON/ スタンバイ状態を切り換えます。

3.　入力切換 (テレビ用)

テレビの入力をビデオ入力と切り換えます。

4.　チャンネル (テレビ用)

テレビで表示しているチャンネルを変更します。

5.　音量 (テレビ用)

テレビの音量を調整します。

6.　数字キー

デジタル放送視聴では、放送チャンネルを変更します。また、設定メニューでは、英数字入力キーとして使用します。

※本製品では、ひらがなを入力することはできません。

※数字の「0」(ゼロ) を入力する場合は、[10] を押します。

7.　青ボタン

デジタル放送視聴時、画面ごとに青色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。

8.　赤ボタン

デジタル放送視聴時は、画面ごとに赤色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。
ファイル再生時に押すとコマ送りします。

9.　緑ボタン

デジタル放送視聴時は、画面ごとに緑色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。

ファイル再生時に押すと再生位置を 30 秒前にスキップします。

10. 黄ボタン

デジタル放送視聴時、画面ごとに黄色ボタンに割り当てられた機能が働きます。画面によって機能が異なります。

11. 画面表示

デジタル放送視聴時は、番組情報の表示 / 非表示を切り換えます。ファイル再生時に押すと、再生中のファイルの情報を表示します。

12. チャンネル (LinkTheater 用)

デジタル放送視聴時、LinkTheater で視聴しているチャンネルを変更します。

13. 音量 (LinkTheater 用)

LinkTheater の音量を調整します。

14. 消音

LinkTheater の音声を消音する / しないを切り換えます。

15. d データ

デジタル放送視聴時に押すと、データ放送の表示 / 非表示を切り換えます。

16. 番組表

デジタル放送視聴時に電子番組表 (EPG) の表示/非表示を切り換えます。

17. 戻る

前の画面に戻ります。

18. TOP

テレビ視聴モードのトップメニューまたは LinkTheater モードのトップメニューを表示します。

19. メニュー

デジタル放送視聴時に押すと視聴メニューを表示します。

20. 方向キー

カーソルを移動します。
ファイル一覧表示時に右方向キーを押すとファイルを再生します。

次のページへ続く

21. 決定

選択した項目を決定します。

22. 巻き戻し

再生中に押すと巻き戻しします。
巻き戻し速度は押すごとに、× 2/ × 4/ × 8/ × 16/ × 32/ × 64/ × 128/× 256 に変更できます (音楽の場合は× 3 となります)。

※接続するサーバーやファイル形式によっては使用できない場合があります。

23. 再生 / 一時停止

ファイル一覧画面で押すとファイルを再生します。再生中に押すと一時停止します。

24. 早送り

再生中に押すと、早送りします。
早送り速度は押すごとに、× 1.2/ × 2/ × 4/ × 8/ × 16/ × 32/ × 64/ × 128/ × 256 に変更できます (音楽の場合は× 3 となります)。

※接続するサーバーやファイル形式によっては使用できない場合があります。

25. 前スキップ

ファイル (コンテンツ) のはじめから 4 秒以上経過している場合はファイルの先頭に戻ります。4 秒未満の場合は前のファイルを再生します。

26. 停止

再生 / 録画を停止します。

27. 次スキップ

次のファイル（コンテンツ）があれば次のファイルを再生します。

28. リピート

リピート機能を選択します（ランダム→1ファイルリピート→全ファイルリピート→ランダム＋全ファイルリピート→なし)。

※録画番組再生時では、なし / 全コンテンツが選択できます。

29. 録画

本製品に USB ハードディスクを接続している場合、地上デジタル放送視聴時に録画ボタンを押すと視聴番組を録画することができます。

30.30 秒送り

30 秒先から再生します。

31. 機能切換

LinkTheater モードとテレビ視聴モードを切り換えます。

※ テレビ視聴モードから LinkTheater モードへの切り換えに約 20 秒、LinkTheater モードからテレビ視聴モードへの切り換えに約 30 秒かかります。

32. 出力切換

ビデオ出力を切り換えます (D1 : 480i → D2 : 480p → D3 : 1080i → D4 : 720p)。

33. 音声切換

音声出力を切り換えます (第一主 → 第一副 → 第一主／副 → 第二主 → 第二副 → 第二主／副 →・・・)。

34. 字幕

字幕の表示を切り換えます（日本語→英語→なし)。

35. 地上 D

地上デジタル放送に番組を切り換えます。

36. BS

BS 放送に番組を切り換えます。

37. CS

110 度 CS 放送に番組を切り換えます。

38. ズーム

デジタル放送視聴時にボタンを押すと、視聴画面がズームされます。【P50】
また、写真スライドショーの時に押すと、表示画面が小さい場合には全画面にズームします。

次のページへ続く

付属のリモコンでのテレビ操作について

（テレビ）と記載されている２～５のボタンで、お使いのテレビを操作することができます。テレビメーカー、製品によってリモコンの信号は異なります。テレビを付属のリモコンで操作するには、あらかじめリモコンの **[電源（テレビ用）] ボタン**を押しながら、**数字キー**で設定番号を順に押してください。設定番号は次のとおりです。

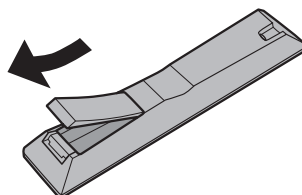
設定番号	メーカー	設定番号	メーカー
10、**1** の順に押す	パナソニック (旧:松下電器)1	**2**、**1** の順に押す	NEC1
10、**2** の順に押す	パナソニック (旧:松下電器)2	**2**、**2** の順に押す	NEC2
10、**3** の順に押す	パナソニック (旧:松下電器)3	**2**、**3** の順に押す	パイオニア
10、**4** の順に押す	シャープ 1	**2**、**4** の順に押す	富士通ゼネラル
10、**5** の順に押す	シャープ 2	**2**、**5** の順に押す	アイワ 1
10、**6** の順に押す	シャープ 3	**2**、**6** の順に押す	アイワ 2
10、**7** の順に押す	ソニー 1	**2**、**7** の順に押す	アイワ 3
10、**8** の順に押す	ソニー 2	**2**、**8** の順に押す	船井 1
10、**9** の順に押す	東芝 1	**2**、**9** の順に押す	船井 2
1、**10** の順に押す	東芝 2	**3**、**10** の順に押す	船井 3
1、**1** の順に押す	日立 1	**3**、**1** の順に押す	船井 4
1、**2** の順に押す	日立 2	**3**、**2** の順に押す	船井 5
1、**3** の順に押す	日立 3	**3**、**3** の順に押す	SAMSUNG
1、**4** の順に押す	三菱 1	**3**、**4** の順に押す	LG
1、**5** の順に押す	三菱 2	**3**、**5** の順に押す	ORION
1、**6** の順に押す	三洋 1	**3**、**6** の順に押す	PHILLIPS1
1、**7** の順に押す	三洋 2	**3**、**7** の順に押す	PHILLIPS2
1、**8** の順に押す	ビクター 1		
1、**9** の順に押す	ビクター 2		
2、**10** の順に押す	ビクター 3		

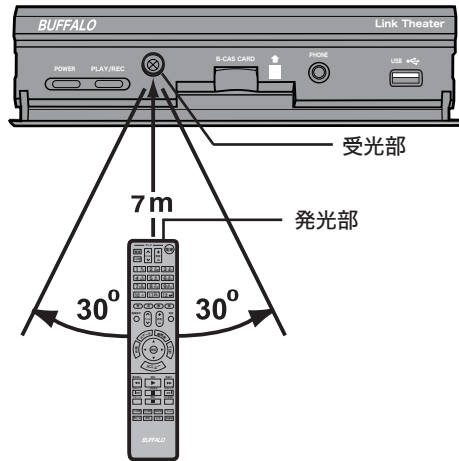
⚠注意 **・同じメーカーでも複数の設定番号がある場合は、動作が確認できるまで順に番号をお試しください。**

・全てのテレビで動作を保証するものではありません。動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをご使用ください。

リモコンに電池を入れる

リモコンを使用できるように電池を入れます。本製品のリモコンは単四形乾電池２本で動作します。リモコン裏面の電池カバーを開け、電池を入れてください。⊕と⊖の向きはリモコンに記載されています。

⚠注意 **・⊕と⊖の向きに注意して正しく入れてください。**
・付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取り換えください。

リモコンの使いかた

本リモコンを使うときは、リモコンの発光部を本体の受光部に向けます。リモコンの使用可能位置については、下図を参照してください。

制限事項

本製品には以下の制限事項があります。

■ 本製品でパソコンが認識できないときは

ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品でパソコンが認識できないことがあります。このようなときは、ファイアウォール機能を無効にするか、ポートの使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。【P102】

■ 本製品は、デジタル放送の双方向サービスには対応しておりません。

■ 本製品で再生できるファイルは、最長で 13 時間までです。

13 時間を超えるファイルの場合、正常に再生、早送り、巻き戻しができません。

■ 製品本体からの放熱について

本製品は、製品本体から放熱する機構となっています。本体表面に触れると熱く感じますが使用上の問題はありません。空気の流れを妨げないよう、次の事項に注意してください。

・本体の上に物をのせないでください。
・本体の周囲には十分なスペースをあけてください。

■ 本製品に USB ハードディスクを接続して録画する場合、次の制限があります。

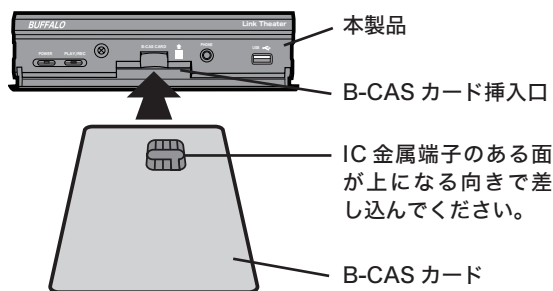
・字幕を表示することはできません。
・番組によっては音声の切り換え (主／副音声) ができないことがあります。
・番組の録画データは、著作権保護のために暗号化されています。そのため、録画した番組を再生するには、録画時に使用した本体・USB ハードディスクが必要です。
・BS 放送、110 度 CS 放送を録画することはできません。

接続・準備

本製品の使用するために必要な準備、接続方法について説明しています。

B-CAS カードをセットする

デジタル放送を視聴するには、本製品に付属の B-CAS カードをセットする必要があります。必ず次のようにセットしてください。

<前面から見た図>　　**※前面のフタをあけた図です。**

<B-CAS カードのお問合せ先>
株式会社
ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ
カスタマーセンター
TEL：0570-000-250
受付時間：
10：00 ～ 20：00

⚠注意 **【 B-CAS カードの取り扱い上のご注意 】**

・B-CAS カードをセットするときは、向きに注意して確実に差し込んでください。また B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
・本製品使用中は、B-CAS カードに触れたり、抜き差ししたりしないでください。
・B-CAS カードの IC 金属端子には手を触れないでください。
・B-CAS カードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
・B-CAS カードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしなでください。
・B-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手で触らないでください。
・B-CAS カードを分解、加工をしないでください。

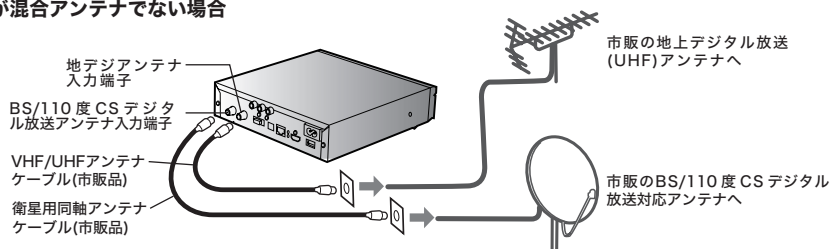
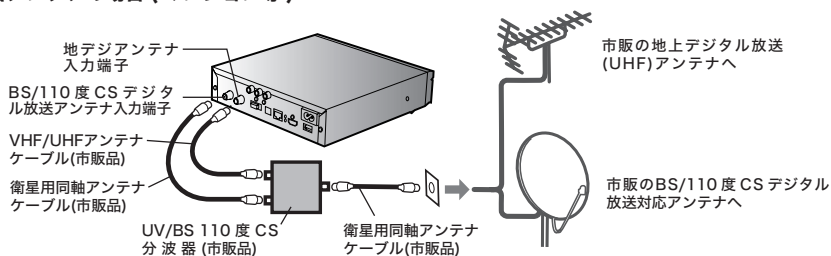
【 B-CAS カード保管の際の注意 】

付属の B-CAS カードは、デジタル放送を視聴していただくためのカードです。万が一、破損や紛失などした場合は、右上部に記載の B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。破損や紛失がお客様の原因で発生した場合は、再発行費用が請求されます。あらかじめご了承ください。

また、第三者がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はお客様に請求されますので保管をする際にはご注意ください。

次へ　**本製品にアンテナを接続します。【P19】**

本製品をアンテナに接続する

地上デジタル放送と BS/110 度 CS デジタル放送の信号が混合アンテナでない場合

地上デジタル放送と BS/110 度 CS デジタル放送の信号が混合アンテナの場合 (マンション等)

⚠注意
- F 型コネクター以外のアンテナケーブルで取り付ける場合、別途変換アダプターが必要です。
- すでに壁のアンテナ端子とテレビを接続している場合は、市販のアンテナ分配器をご利用ください。アンテナ分配器を利用すれば、本製品とテレビをどちらも接続できるようになります。
- ケーブルテレビに接続する場合 (ケーブルテレビ専用チューナーに接続する場合)、ケーブルテレビがパススルー方式に対応している必要があります。取り付けについてはケーブルテレビ専用チューナーに付属のマニュアルをご参照ください。

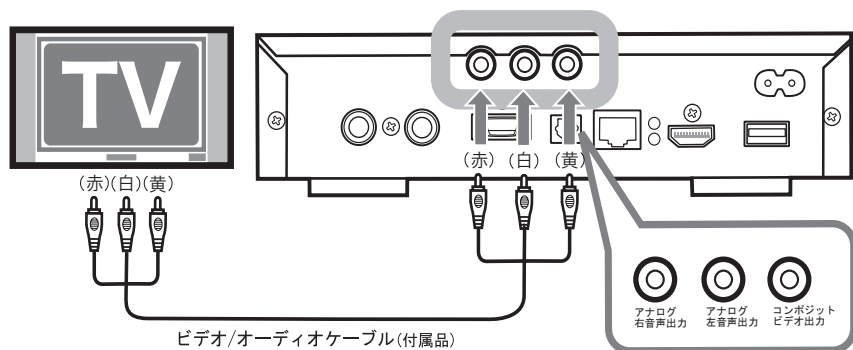
次へ　本製品をテレビに接続します。【P20】

本製品をテレビに接続する

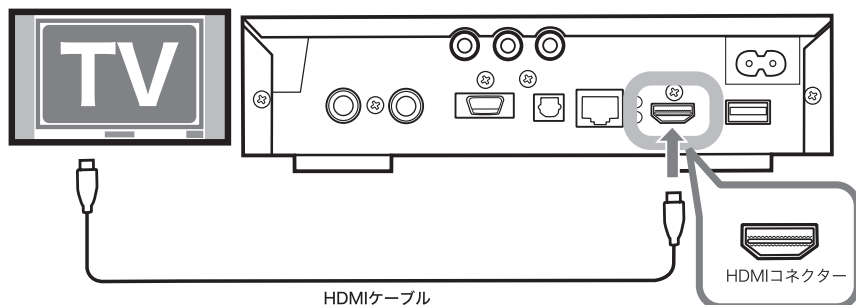
本製品をテレビに接続します。テレビに HDMI コネクターや D 端子がある場合、より高品質の映像をご覧いただけます。

⚠注意　**D 端子と他の映像出力端子 (コンポジットビデオ出力や HDMI コネクター）は同時に接続して使用することはできません。**

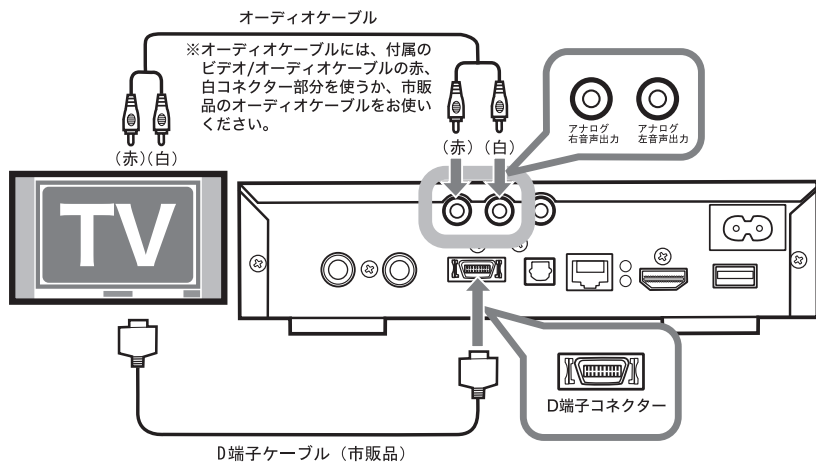
付属のビデオ / オーディオケーブルで接続

付属のビデオ / オーディオケーブルでテレビ (ビデオ映像コンポジット入力) と本製品を接続します

次へ　**本製品をネットワークに接続します。【P23】**

高品質の映像を楽しむ（HDMI コネクターに接続）

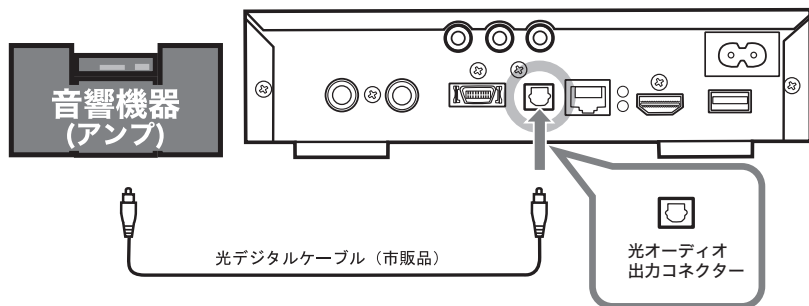
お使いのテレビに HDMI 端子がある場合、付属のビデオ / オーディオケーブルで接続するよりもより鮮明な映像をお楽しみいただけます。
HDMI コネクターに接続するには、HDMI ケーブルが必要です。
LT-H90DTV-AV については、付属の HDMI ケーブルをお使いください。

次へ　**本製品をネットワークに接続します。【P23】**

高品質な映像を楽しむ（D 端子に接続）

お使いのテレビに D 端子がある場合、以下のように接続してください。なお、D 端子および音声入力端子に接続するには、市販の D 端子ケーブルと、市販のオーディオケーブルが必要です。

⚠注意 **プログレッシブ再生映像を表示したい場合は、D2 以上の入力端子を持つテレビと接続してください。D1 の入力端子と接続してもプログレッシブ再生した映像は表示されません。**

次へ **本製品をネットワークに接続します。【P23】**

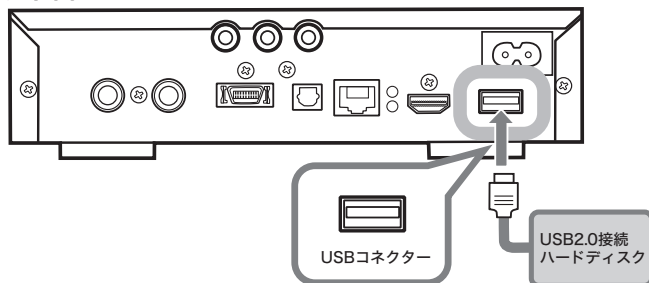
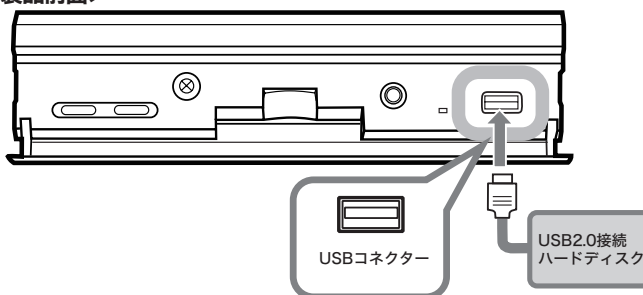
本製品に音響機器を接続する場合

本製品の音声を音響機器（デコーダー付デジタルアンプなど）と接続する場合は、市販の光デジタルケーブルで接続してください。接続する音響機器がドルビーデジタルや DTS などに対応している場合は、迫力ある音声で楽しむことができます。

メモ 接続や準備が完了した後、本製品の設定画面で「パススルー (S/PDIF)」を設定してください（P48）。

次へ **本製品をネットワークに接続します。【P23】**

本製品にハードディスク(別売)を接続する

本製品の USB コネクターに、USB ハードディスク (USB2.0) を取り付けると、地上デジタル放送の番組を録画することができます。
※ BS 放送、110 度 CS 放送を録画することはできません。

<本製品背面>

<本製品前面> **※前面のフタをあけた図です。**

⚠注意

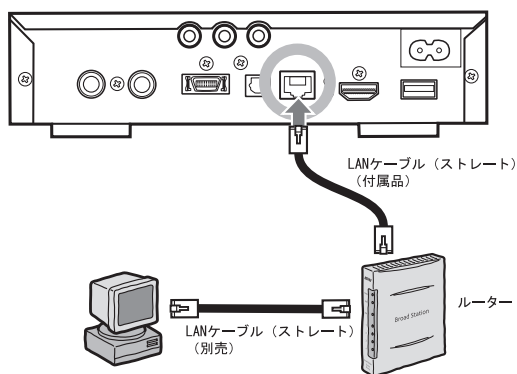
- **USB ハードディスクアクセス中に本製品から USB ハードディスクを取り外さないでください。USB ハードディスクへアクセスしている時に取り外すと USB ハードディスクが故障したり、以降の録画が正常に行えなくなることがあります。**

  USB ハードディスクにアクセスしていない状態であればそのまま取り外してかまいません。
- **本製品の USB コネクターにハードディスクを接続して番組を録画するには、あらかじめハードディスクをパソコンで FAT32 形式でフォーマットしてください。フォーマットには、本製品付属の Disk Formatter やハードディスクに付属しているフォーマットユーティリティーをお使いください。**
- **本製品の USB コネクターに接続できるハードディスクは 1 台です。2 台以上接続して使用することはできません。2 台以上の USB ハードディスクを使用するときは、1 台ずつつなぎ換えてお使いください。**
- **CD ドライブモード変更スイッチの搭載された USB ハードディスクを接続する場合、CD ドライブモード変更スイッチの設定は「OFF」にしてお使いください。**
- **本製品の初期設定時、ファームウェアのアップデート時は、本製品に USB ハードディスク等の機器を接続しないでください。**

本製品をネットワークに接続する

インターネットをお使いの場合

本製品とルーターを付属の LAN ケーブル (ストレート) で接続します。

⚠注意　**お使いの環境にルーターがない場合（DHCP サーバーを使用していないとき）は、本製品のネットワーク設定を手動で行う必要があります。本製品の接続が完了したら、「ルーターをお持ちでない方へ」（P91）を参照してネットワーク設定を行ってください。**

メモ　ルーターとは
複数のパソコンやネットワーク機器（本製品を含む）を使用する場合に、各機器のネットワーク設定を自動で設定する機器です。

⚠注意　**別途 LAN ケーブルをご用意される方へ**

- **100Mbps でネットワークを構築するときは、必ず付属のケーブルまたはカテゴリ 5 対応の LAN ケーブル（弊社製 ETP ケーブルなど）をお使いください。**
- **自作ケーブルの使用は、ネットワークが正常につながらない原因となります。市販のケーブルをご使用ください。**

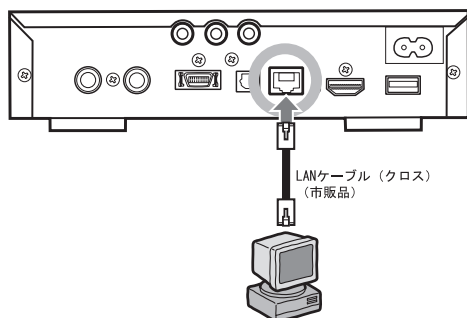
次へ　**本製品に電源ケーブルを接続します。【P24】**

はじめに
接続・準備
デジタル放送
ファイル再生
付録

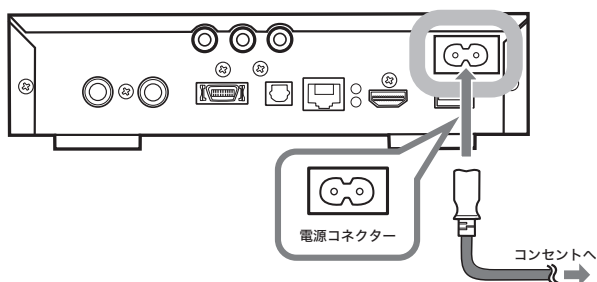
パソコンと直接接続する場合

パソコンと本製品を直接接続したい場合は、市販のクロスケーブルが必要です。以下のように接続してください。

本製品とパソコンを市販のLANケーブル(クロス)で接続します。

⚠注意
- **付属のLANケーブルはストレートケーブルです。クロスケーブルは別途ご用意ください。**
- **パソコンと直接接続した場合、本製品のIPアドレスは手動で設定してください。【P91】**

次へ **本製品に電源ケーブルを接続します。**

本製品に電源ケーブルを接続する

付属の電源ケーブルを本製品背面の電源入力端子とコンセントに接続します。

次へ **本製品の初期設定をします。【P25】**

本製品の初期設定をする

本製品の初期設定 (テレビ画面、受信チャンネル、ネットワーク等) を行います。

⚠注意 初期設定時、本製品の USB コネクターにはハードディスク等の機器を接続しないでください。

1 本製品の電源を入れます。

2 テレビの画面に「かんたん初期設定」が表示されます。

※ 本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのか分かるよう、テレビ画面に テレビの画面 TV と案内しています。

※ 本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

テレビの画面 TV

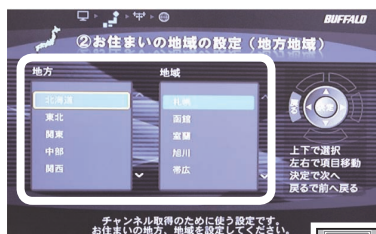
3 表示された初期設定のながれをよく読み、リモコンの［決定］ボタンを押します。

4 テレビの形、解像度を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

メモ D1 と D2 は、4:3 の通常画面、D3 と D4 は 16：9 のワイド画面です。

D1：解像度 480i(インタレース)
D2：解像度 480p(プログレッシブ)
D3：解像度 1080i(インタレース)
D4：解像度 720p(プログレッシブ)

テレビの画面 TV

5 お住まいの地域を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

次のページへ続く

6　お住まいの地域の郵便番号を入力し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

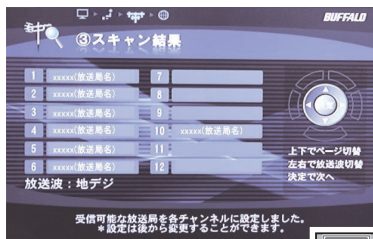
テレビの画面

7　B-CAS カードを本製品にセットし、アンテナケーブル、LAN ケーブルを接続します。

リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面

メモ
- すでに P18 ～ 24 を参照して B-CAS カード、アンテナ、LAN ケーブルを取り付けている方はそのままの状態でかまいません。
- チャンネルスキャンが開始されます。チャンネルのスキャンには数分かかります。

8　受信可能なチャンネル (放送局) が表示されます。リモコンの［決定］ボタンを押します。

テレビの画面

次のページへ続く

9 [ネットワークの設定をする]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

テレビの画面

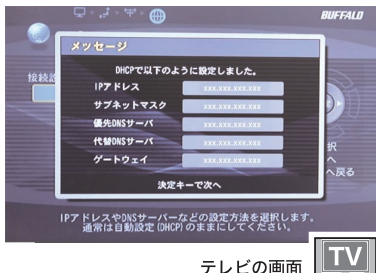
メモ ネットワークを設定しない(ネットワーク経由でのファイル再生を本製品で行わない)場合は、[後で設定する]を選択し、手順13へお進みください。

10 [自動設定(DHCP)]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

テレビの画面

メモ 本製品を接続しているネットワークにDHCPサーバーがないときは、[手動設定]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押してください。【P93】

11 設定したネットワーク情報を確認し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

テレビの画面

12 [使用しない]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

テレビの画面

メモ プロキシサーバーを設定したい方は、[使用する]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押してください。以降は画面の指示にしたがってプロキシサーバー名、ポート番号を入力してください。

次のページへ続く

13「設定が完了しました」と表示されたら、リモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ 自動的にファームウェアのアップデートが開始されます。アップデートが完了すると自動的に本製品は再起動します。手順９で [後で設定する] を選択したときや、既に最新のファームウェアだったとき、アップデートできなかったときは、再起動画面は表示されません。

14 本製品の再起動後、本製品のトップ画面が表示されます。

以上で本製品の初期設定は完了です。

テレビの画面

省電力モードについて

本製品を省電力モードとして終了すると、通常のスタンバイ時 (リモコンや本体の電源ボタンで OFF にする) より消費電力を抑えることができます。

省電力モードとして終了するには、トップ画面で [eco] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。

テレビの画面

※省電力モードでは、電子番組表 (EPG) のデータを収集しません。
※省電力モードでは、録画予約があっても録画は実行されません。録画予約があるときは、リモコンや本体の電源ボタンを押してスタンバイにしてください。

デジタル放送

地上デジタル、BS/110 度 CS デジタル放送の視聴について説明しています。

デジタル放送を視聴する

本製品でデジタル放送を視聴するときは、以下の手順で行ってください。

1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの[TOP]ボタンを押します。

※ LinkTheater モード時は、リモコンの [機能切換] ボタンを押します。

3 [テレビ視聴] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

テレビの画面

4 デジタル放送がテレビの画面に表示されます。

※右の画面は、リモコンの [メニュー] ボタンを押して視聴メニューを表示した例です。

テレビの画面

以上でデジタル放送の視聴は完了です。

リモコンでの操作 (チャンネル変更、音量調整等) については、P13 をご参照ください。

次のページへ続く

メモ 視聴メニューでの操作について

テレビ番組視聴中に、リモコンの [メニュー] ボタンを押すと、視聴メニューがテレビ画面に表示されます。
視聴メニューでは次のことが設定できます。

・音声
　音声を切り換えます (第一音声 → 第二音声)。
・音声多重
　主 / 副音声を切り換えます (主音声 → 副音声→ 主 / 副音声)。
・字幕
　字幕対応の番組の場合、字幕 (放送内容と連動した文字データ) の表示を なし / 日本語 / 英語に切り換えます。
・文字スーパー
　文字スーパー (放送内容と関係のないニュースや天気予報といった文字データ) の表示をオフ / オンに切り換えます。
・ダイレクト選局
　リモコンの数字キーで直接数字を (3 桁) 入力してチャンネルを切り換えます。
・受信レベル表示
　現在のチャンネルの受信レベルを表示します。
・録画予約
　録画予約一覧画面を表示します。
　※録画機能を使用するには、別途 USB ハードディスクを用意し、本製品の USB コネクターに接続している必要があります。
・録画済一覧
　録画済み一覧画面を表示します。
　※録画機能を使用するには、別途 USB ハードディスクを用意し、本製品の USB コネクターに接続している必要があります。

電子番組表 (EPG) の表示について

テレビ番組視聴中に、リモコンの [番組表] ボタンを押すと電子番組表 (EPG) をテレビ画面に表示させることができます。電子番組表のデータは、テレビ視聴中に、視聴中の番組と次の番組しか取得しません。
電子番組表を表示中に、リモコンの黄色ボタンを押すと、選択している放送局の番組表データを取得します。
また、電子番組表データは本製品がスタンバイ状態のときに自動的に取得します (地上 /BS デジタル放送の番組情報を取得するには約 4 時間かかります)。

※本製品前面またはリモコンの電源ボタンを押すことで電源 ON/ スタンバイ状態が切り換わります。
※ LinkTheater モード時のスタンバイ状態では、番組表データの自動取得はできません。
※番組表データを取得中 (地上デジタル放送の場合は 2 分 30 秒、BS/110 度 CS デジタル放送の場合は 4 分 30 秒の間) は、リモコン操作ができなくなりますのでご注意ください。
※放送状態によって、全ての番組表データが取得できないことがあります。
※電子番組表表示中にリモコンの次のボタンを押すと以下の操作をすることができます。

[停止]
マルチチャンネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。

[画面表示] または **[メニュー]**
表示されるメニューから [リストから消す] を選択すると、選択中の放送局を非表示にすることができます。非表示にした放送局は、その放送局視聴中に電子番組表を表示させ、リモコンの [メニュー] ボタンを押して表示されるメニューから [リストに戻す] を選択すると表示させることができます。

[録画]
選択中の番組を録画予約します。録画予約している番組は予約を解除します。

[巻き戻し] または **[早送り]**
左右へ 1 画面分スクロールします。

[スキップ]
上下へ 1 画面分スクロールします。

※裏番組表の表示について
番組視聴中にリモコンの [再生 / 一時停止] ボタンを押すと、現在放送中の裏番組表を表示させることができます。
- 裏番組表を表示中にリモコンの [メニュー] ボタンを押すと、選択中の番組の詳細を表示します。
- 裏番組表を表示中にリモコンの [停止] ボタンを押すと、マルチチャンネルの表示 / 非表示を切り換えます。

マルチチャンネルの変更方法について

放送局では、ハイビジョン放送 1 番組の代わりにマルチチャンネルとして標準画質放送を同時に 3 番組放送することがあります。このような場合、マルチチャンネルに切り換えるには、現在視聴しているチャンネルが割り当てられているリモコンの数字キーを押すとマルチチャンネルに切り換わります。

地上デジタル放送を録画予約する

デジタル放送を録画予約するときは、以下の手順で行ってください。

録画機能を使用するには、別途 USB ハードディスクを用意し、本製品の USB コネクターに接続している必要があります (BS 放送、110 度 CS 放送は録画できません)。

ハードディスクをフォーマットする

本製品に接続した USB ハードディスクに番組を録画するには、あらかじめ USB ハードディスクを FAT32 形式にフォーマットしてください。フォーマットには、本製品付属の Disk Formatter やハードディスクに付属しているフォーマットユーティリティーをお使いください。本書では Disk Formatter の手順を例に説明しています。

Disk Formatter のインストール

1 パソコンを起動します。

WindowsVista/XP/2000 をお使いの場合、コンピュータの管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

2 付属の CD をパソコンにセットします。

しばらくすると「簡単セットアップ」が起動します。

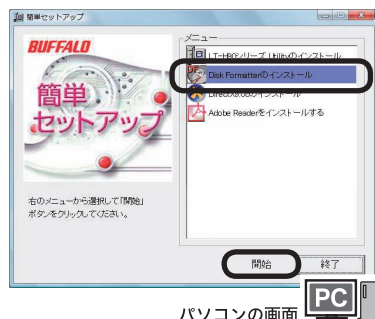
⚠注意 Windows Vista をお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[BuffaloInst.exe の実行] をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

3 「Disk Formatter のインストール」を選択し、[開始] をクリックします。

右の画面が表示されない場合は、付属の CD 内の「BuffaloInst.exe」をダブルクリックしてください。

※ **本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのか分かるよう、パソコンテレビ画面に パソコンの画面 PC と案内しています。**

※ **本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。**

パソコンの画面

次のページへ続く

4　以降は画面の指示にしたがってインストールします。

以上で Disk Formatter のインストールは完了です。

Disk Formatter でのフォーマット

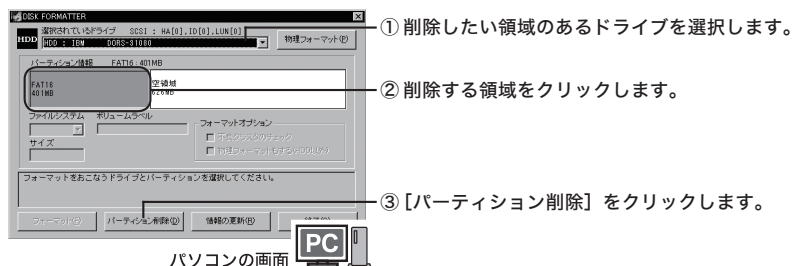
1　パソコンに USB ハードディスクを接続します。

WindowsVista/XP/2000 をお使いの場合、コンピュータの管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

2　[スタート] − [(すべての) プログラム] − [BUFFALO] − [DISK FORMATTER] − [DISK FORMATTER] の順に選択します。

Disk Formatter が起動します。

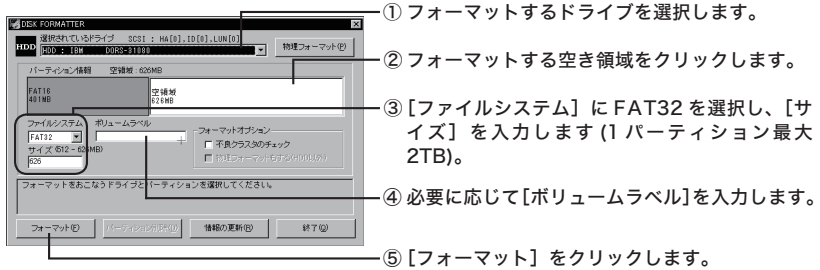
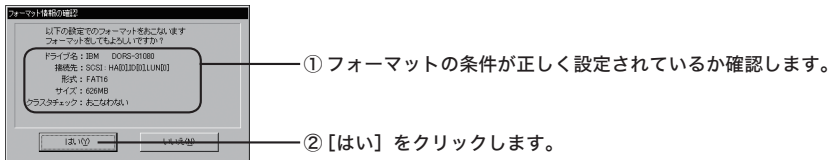
※ Windows Vista をお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

3　USB ハードディスクの領域を削除します。

パソコンの画面

⚠注意　USB ハードディスクのデータが全て削除されます。大切なデータがある場合は、領域を削除する前に別のメディアへデータをバックアップしてください。

次のページへ続く

4 USB ハードディスクをフォーマットします。

5

6 「フォーマットは正常に終了しました」というメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

以上で Disk Formatter によるフォーマットは完了です。

ハードディスクを準備する

本製品に接続したUSBハードディスクに番組を録画するには、あらかじめUSBハードディスクを次の手順で準備してください。

1　P22「本製品にハードディスクを接続する」の手順にしたがって本製品にUSBハードディスクを接続します。

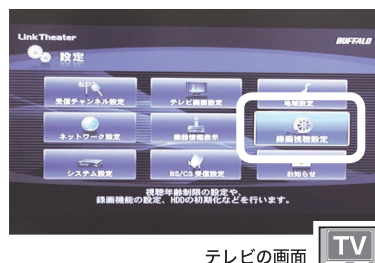
2　本製品の電源を入れます。

3　リモコンの[TOP]ボタンを押します。

※ LinkTheaterモード時は、リモコンの[機能切換]ボタンを押します。

4　[設定]を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

テレビの画面

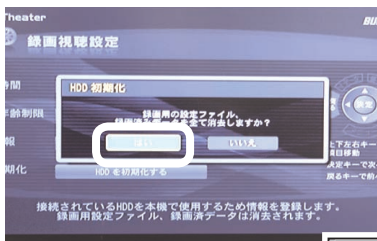
5　[録画視聴設定]を選択してリモコンの[決定]ボタンを押します。

テレビの画面

はじめに
接続・準備
デジタル放送
ファイル再生
付録

次のページへ続く

6 [HDD を初期化する] を選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面

7 [はい] を選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面

以上で USB ハードディスクの初期化は完了です。

電子番組表 (EPG) からの予約の手順

電子番組表 (EPG) から予約するときは、次の手順で行います。

⚠注意 **電子番組表 (EPG) 予約を行なう場合、あらかじめ電子番組表 (EPG) データを取得する必要があります。電子番組表データの取得方法については、P31 をご参照ください。**

1 本製品の電源を入れます。

2 地上デジタル放送視聴中、または予約一覧画面でリモコンの [番組表] ボタンを押します。電子番組表 (EPG) が表示されます。

3 予約したい番組の上で [決定] ボタン (番組詳細) を押して録画予約を選択することによって予約を追加することができます。

テレビの画面

※リモコンのメニューボタンを押し、表示されたメニューから [録画予約] を選択しても予約画面を表示することができます。

※リモコンの録画ボタンを押すと予約登録を完了することができます。

4 [予約登録] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

以上で電子番組表 (EPG) からの予約は完了です。

手動による予約の手順

手動で予約するときは、次の手順で行います。

1　本製品の電源を入れます。

2　リモコンの [TOP] ボタンを押します。

※ LinkTheater モード時は、リモコンの [機能切換] ボタンを押します。

3　[録画機能] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

テレビの画面

4　[予約一覧] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

録画予約一覧が表示されます。

※録画予約一覧は番組視聴中に、リモコンのメニューボタンを押して表示される視聴メニューから [録画予約] を選択することでも表示できます。

テレビの画面

5　リモコンの [メニュー] ボタンを押し、録画予約メニューを表示させます。

※ USB ハードディスク接続時、予約一覧画面でリモコンの [画面表示] ボタンを押すと USB ハードディスクの空き容量を表示します。

テレビの画面

次のページへ続く

メモ 録画予約メニューでの操作について

録画予約メニューでは、次のことが設定できます。

・編集する	予約内容を編集します。
・新規録画予約	新規録画予約画面を表示します。
・番組情報を見る	予約した番組情報を表示します。
・電子番組表を見る	EPG 番組表を表示します。
・削除する	予約を削除します。
・並び替え	予約一覧の表示順序を並び替えます。
・録画済み一覧	録画済み一覧画面を表示します。

6 [新規録画予約] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

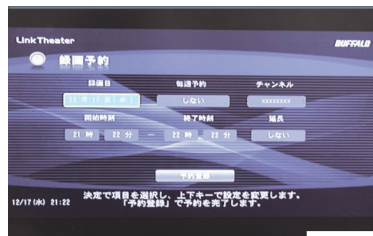
※録画予約一覧に表示される [新規予約] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押しても予約画面を表示することができます。

TV

テレビの画面

7 各項目を設定後、[予約登録] を選択した状態でリモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面

次のページへ続く

メモ 録画予約画面での操作について

録画予約画面では、次のことが設定できます。

・録画日
　録画を実行する日付を指定します。
・毎週予約
　連続予約を行ないたい時に、曜日を指定します。
・チャンネル
　放送局を指定します。マルチチャンネルを録画するには、数字キーで3桁のチャンネルを入力します。
・開始時刻
　録画開始時刻を指定します。
・終了時刻
　録画終了時刻を指定します。
・延長
　番組が延長した時に自動的に追従する機能を [しない]、[する] を選択できます。出荷時設定では [しない] に設定されています。
・予約登録
　予約を登録します。

※番組のタイトル名は電子番組表 (EPG) より自動で取得します。取得できないときは、番組名不明となります。

以上で手動による予約は完了です。

録画番組を再生する

録画した番組を再生するときは、以下の手順で行ってください。

録画機能を使用するには、別途弊社製 USB ハードディスクを用意し、本製品の USB コネクターに接続している必要があります。

1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。

※ LinkTheater モード時は、リモコンの [機能切換] ボタンを押します。

3 [録画機能] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

テレビの画面

4 [録画一覧] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

録画済一覧画面が表示されます。

テレビの画面

5 再生したい番組を選択し、リモコンの [再生] ボタンを押します。

※ USB ハードディスク接続時、録画一覧画面でリモコンの [画面表示] ボタンを押すと USB ハードディスクの空き容量を表示します。

テレビの画面

次のページへ続く

メモ 再生を停止したいときは、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

※録画番組再生中にリモコンの次のボタンを押すと以下の動作をします。
[画面表示] ボタン
再生中の録画番組の放送局名・タイトル・再生ステータス・再生位置を表示します。
[早送り] ボタン
× 1.2/ × 2/ × 4/ × 8/ × 16/ × 32/×64/×128/×256 で再生できます。
[巻き戻し] ボタン
× 2/ × 4/ × 8/ × 16/ × 32/ × 64/ × 128/×256 で再生します。
数字キー、方向キー (→)、決定ボタン
録画ファイルを 12 分割した時間へスキップできます。

リモコンでの操作については、P13 をご参照ください。

以上で録画番組の再生は完了です。

メモ 録画済メニューでの操作について

録画済一覧画面表示中に、リモコンの [メニュー] ボタンを押すと、録画済メニューがテレビ画面に表示されます。
録画済メニューでは次のことが設定できます。

・再生する
選択した番組を再生します。
・番組情報を見る
選択した番組の情報を表示します。
・保護 / 保護解除
録画した番組を削除できないように保護する / しないを設定します。
・削除する
選択した番組を削除します。
・並び替え
録画番組の表示順序を並び替えします。
・録画予約一覧
録画予約一覧画面を表示します。

⚠注意 番組を録画した USB ハードディスクをパソコンに接続して、ファイル名の変更や削除を行わないでください。録画した番組が再生できなくなります。

本製品の設定

本製品の詳細設定を説明します。

設定画面を表示する

本製品の設定は以下の手順で起動します。

1　本製品の電源を入れます。

2　リモコンの[TOP]ボタンを押します。

※ LinkTheater モード時は、リモコンの [機能切換] ボタンを押します。

3　[設定] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

テレビの画面

4　設定画面の項目を選択してリモコンの [決定] ボタンを押すと、設定項目を表示します。

テレビの画面

以上で設定画面の表示は完了です。

次のページへ続く

メモ 設定画面からできること

設定画面から以下の項目を設定することができます。

- **受信チャンネル設定**
  チャンネルのスキャン、チャンネル番号の変更等を行います。
- **ネットワーク設定**
  本製品の IP アドレスやプロキシサーバーを設定します。
- **システム設定**
  LED 輝度設定､パススルー (S/PDIF) 設定､操作音量設定､システムアップデート、設定初期化を行います。
- **テレビ画面設定**
  画面出力モード、メニュー表示位置、スクリーンセーバー起動時間を設定します。
- **機器情報表示**
  本製品の MAC アドレス、ソフトバージョン、B-CAS カードの種別・カード ID 等を表示します。
- **BS/CS 受信設定**
  衛星アンテナへの電源供給設定、降雨放送の受信設定を行います。
- **地域設定**
  お住まいの地方、地域を指定します。
- **録画視聴設定**
  録画時間、USB 給電、視聴年齢制限、HDD 情報、HDD 初期化の設定を行います。
- **お知らせ**
  放送局、受信機からのお知らせを表示します。

受信チャンネル設定

チャンネルのスキャン、チャンネル番号の変更等を行います。

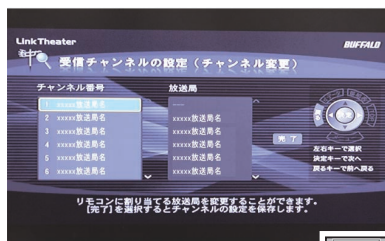
1　設定画面から [受信チャンネル設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面

2　受信チャンネル設定方法を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

メモ [再スキャン] を選択すると、自動的に地上 /BS/110 度 CS デジタル放送全てをスキャンします。チャンネルのスキャンには数分かかります。
[マニュアル] を選択すると、地上デジタル、BS/110 度 CS 各放送波のチャンネルと放送局名の対応を変更できます。画面の指示にしたがって変更してください。

テレビの画面

3　リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面

以上で受信チャンネルの設定は完了です。

メモ 登録できるチャンネル数は地上 /BS/110 度 CS デジタル放送それぞれ 32 チャンネルまでです。110 度 CS デジタル放送については、32 チャンネルよりも多い番組が放送されています。お客様の視聴したい番組に応じて登録するチャンネルを変更してください。

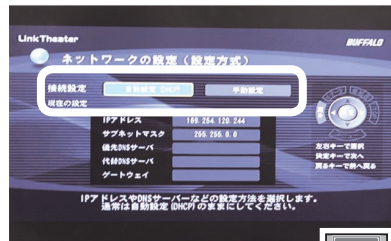
ネットワーク設定

本製品の IP アドレスやプロキシサーバーを設定します。

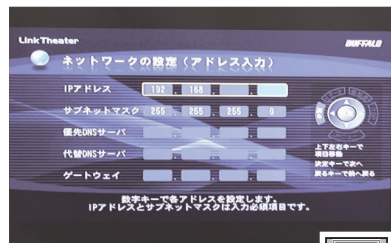
1 設定画面から [ネットワーク設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面

2 設定方式を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

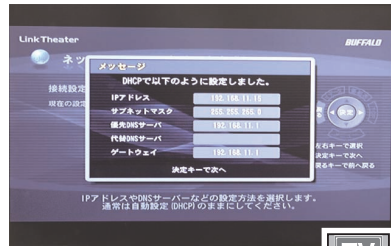
メモ 本製品を接続しているルーターがあるときは、[自動設定 (DHCP)] を選択すると、自動的に IP アドレスが割り当てられます。本製品を接続したネットワーク上にルーターがない場合は、[手動設定] を選択し、画面の指示にしたがって IP アドレスを指定してください。

テレビの画面

＜手動設定画面＞
リモコンの数字キーで数字を入力し、方向キーで項目を移動します。[決定] ボタンで次の画面へ進みます。

- IP アドレス (必須入力項目です)
  本製品の IP アドレスを設定します。
- サブネットマスク (必須入力項目です)
  サブネットマスクを設定します。
- 優先 DNS
  DNS サーバー (プライマリ) を設定します。
- 代替 DNS
  DNS サーバー (セカンダリ) を設定します。
- ゲートウェイ
  ゲートウェイを設定します。

テレビの画面

※詳しくは、付録の「ルーターをお持ちでない方へ」(P91) を参照してください。

次のページへ続く

3　設定したIPアドレスを確認し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

テレビの画面

4　プロキシサーバーの使用する/しないを選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

メモ　[使用する]を選択した場合画面の指示にしたがって、HTTP(HTTPS)プロキシサーバー名とポート番号を入力してください。
リモコンの数字キーで数字を入力し、方向キーで項目を移動します。[決定]ボタンで次の画面へ進みます。

テレビの画面

以上でネットワークの設定は完了です。

はじめに
接続・準備
デジタル放送
ファイル再生
付録

システム設定

LED の明るさ調整、光デジタル音声出力、操作音量設定、システムアップデート、設定初期化を行います。

1　設定画面から [システム設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2　リモコンの方向キーで各設定を変更し、[決定] ボタンを押します。

テレビの画面

以上でシステムの設定は完了です。

メモ　システム設定画面からできること

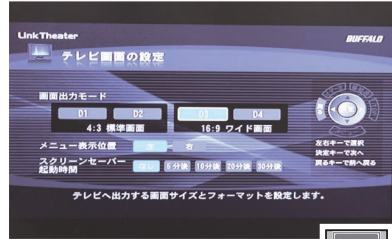
システム設定画面から以下の項目を設定することができます。

- **LED 輝度**
  本製品前面にある LED ランプの明るさを 5 段階で調節します。
- **パススルー (S/PDIF)**
  光デジタル音声出力を [なし][DOLBY DIGITAL][AAC][DOLBY DIGITAL + AAC] から指定します。
  ※ [なし] の場合、音声は PCM(2ch) にダウンミックスされます。5.1ch サラウンド音声を楽しむには光音声端子をアンプに接続し、パススルーの設定を [なし] 以外に設定してください。
- **操作音量**
  操作音量を [なし][小][中][大] から選択することができます。
- **システムアップデート**
  本製品のファームウェアを最新版にアップデートします。
  アップデートには、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。
- **設定初期化**
  本製品の設定を出荷時設定に戻します。

テレビ画面設定

テレビの解像度、メニュー表示位置、スクリーンセーバー起動時間を設定します。

1　設定画面から[テレビ画面設定]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

2　リモコンの方向キーで各設定を変更し、[決定] ボタンを押します。

テレビの画面　TV

以上でテレビ画面設定は完了です。

メモ　テレビ画面設定から以下の項目を設定することができます。

- **画面出力モード**
  テレビの解像度を [D1][D2][D3][D4] から指定します。
  D1 と D2 は 4:3 の通常画面、D3 と D4 は 16：9 のワイド画面です。
- **メニュー表示位置**
  視聴メニューの表示位置を [左][右] から指定します
- **スクリーンセーバー起動時間**
  ファイル再生を行う画面 (TOP 画面で [LinkTheater] を選択) では、スクリーンセーバーを起動することができます。LinkTheater を何分操作しなかった場合にスクリーンセーバーを起動させるかを、[なし][5 分後][10 分後][20 分後][30 分後] から指定します。

次のページへ続く

メモ 画面の表示のされ方について

画面の表示のされ方は、お使いのテレビ画面のアスペクト比や本製品の設定によって異なります。

アスペクト比 4:3 の画面を視聴

	本製品の画面の設定	
	D1/D2 設定	D3/D4 設定
4:3 のテレビ		まわりが黒くなります。リモコンのズームボタンを押すと全画面に表示が切り換わります。
16:9 のテレビ	左右が黒くなります。	

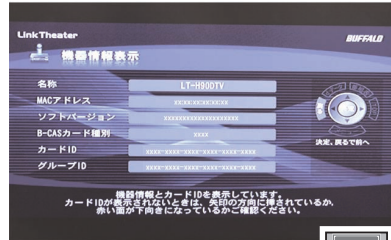
アスペクト比 16:9 の画面を視聴

	本製品の画面の設定	
	D1/D2 設定	D3/D4 設定
4:3 のテレビ	上下が黒くなります。リモコンのズームボタンを押すと下記のように左右の表示が切れて全画面表示となります。	
16:9 のテレビ	まわりが黒くなります。リモコンのズームボタンを押すと全画面に表示が切り換わります。	

機器情報表示

本製品の MAC アドレス、ソフトバージョン、B-CAS カードの種別・カード ID 等を表示します。

1 設定画面から [機器情報表示] を選択して､リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 各情報を確認します。リモコンの [決定] ボタンを押すと、設定画面に戻ります。

テレビの画面

以上で機器情報の表示は完了です。

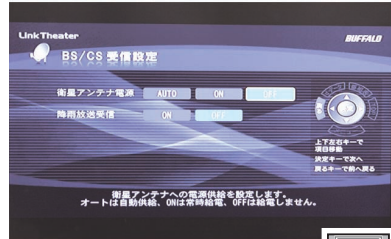
メモ 機器情報表示画面から以下の情報を確認することができます。

- **名称**
  本製品の名称を表示します。
- **MACアドレス**
  本製品のMACアドレスを表示します。
- **ソフトバージョン**
  本製品のファームウェアのバージョンを表示します。
- **B-CAS カード種別**
  本製品付属の B-CAS カードの種別を表示します。
- **カード ID**
  本製品付属の B-CAS カードのカード ID を表示します。
- **グループ ID**
  本製品付属の B-CAS カードのグループ ID を表示します。

BS/CS 受信設定

衛星アンテナへの電源供給設定、降雨放送の受信設定を行います。

1 設定画面から [BS/CS 受信設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 リモコンの方向キーで各設定を変更し、[決定] ボタンを押します。

テレビの画面

以上で BS/CS 受信設定は完了です。

メモ BS/CS 受信設定画面からできること

BS/CS 受信設定画面から以下の項目を設定することができます。

・**衛星アンテナ電源**

BS/CS デジタル放送の衛星アンテナに電源を供給するか設定します。出荷時設定では、[AUTO] に設定されています。

[AUTO]： BS/CS を視聴している時、または BS/CS の番組表取得時のみ電源を供給します。

[ON]： 常に電源を供給します。

[OFF]： 電源を供給しません。マンション等の共同アンテナで分配してる場合は、[OFF] にしてください。

※「衛星アンテナ電源を停止 (OFF) にしました」と表示される場合、次の理由で衛星アンテナへの電源供給を自動的に停止しています。

他の機器により衛星アンテナへ電源が供給されている場合

他の機器 (ハードディスクレコーダーやテレビなど) により、衛星アンテナへ電源が供給されている場合、本製品は自動的に電源の供給を停止し、衛星アンテナ電源の設定を OFF にします。他の機器の設定画面にて衛星アンテナに電源を供給する設定になっているかご確認ください。供給する設定になっているときは、そのままお使いください。

アンテナの配線が間違っている場合

BS/110 度 CS アンテナ入力端子に BS/110 度 CS 以外のアンテナが接続されている場合、衛星アンテナへの電源供給を停止することがあります。BS/110 度 CS のアンテナを接続し、衛星アンテナ電源を [AUTO] または [ON] に設定してください。

・**降雨放送受信**

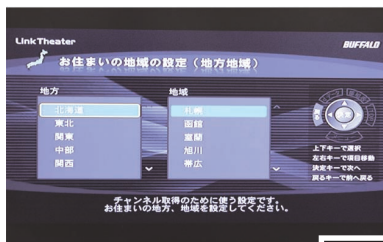
降雨時の電波状況が悪い際に、自動的に降雨放送を受信するように切り換えるかを [ON][OFF] から指定します。

地域設定

お住まいの地方、地域を指定します。

1 設定画面から [地域設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 お住まいの地域を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

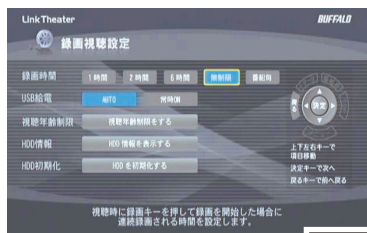
メモ 次に表示される画面では、お住まいの郵便番号をリモコンの数字キーで入力し、[決定] ボタンを押してください。

テレビの画面 TV

以上で地域設定は終了です。

録画視聴設定

録画時間、視聴年齢制限、HDD 情報、HDD 初期化の設定を行います。

1 設定画面から [録画視聴設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 リモコンの方向キーで各設定を変更し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

以上で録画視聴設定は完了です。

メモ **録画視聴設定画面からできること**

録画視聴設定画面から以下の項目を設定することができます。

次のページへ続く

・**録画時間**
リモコンの [録画] ボタンを押して録画したときの最大連続録画時間を [1 時間][2 時間][6 時間][無制限][番組毎] から指定します。
・**USB 給電**
PC 連動 AUTO 電源機能搭載 USB ハードディスクを本製品に接続している際、スタンバイ状態にした時に接続しているハードディスクの電源連動を行う (AUTO) か、行わない (常時 ON) かを選択します。
・**視聴年齢制限**
視聴年齢制限の年齢の設定、暗証番号 (4 桁) の設定を行います。工場出荷時の視聴年齢制限制限は「制限なし」、暗証番号は 0000 に設定されています。
・**HDD 情報**
本製品に接続した USB ハードディスクの情報を表示します。
・**HDD 初期化**
本製品に接続した USB ハードディスクに番組を録画するには、あらかじめ FAT32 にフォーマットされた USB ハードディスクを接続し、初期化する必要があります。
※「HDD 初期化」では、本製品で録画した番組の削除を行いますが、あらかじめ USB ハードディスクに入っていたデータは削除しません。

視聴年齢制限手順

1 設定画面から [録画視聴設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2 [視聴年齢制限をする] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3 暗証番号をリモコンで入力し、[決定] ボタンを押します (出荷時設定では、「0000」となっています)。

4 リモコンの方向キーで各設定を変更し、[決定] ボタンを押します。

以上で視聴年齢制限設定は完了です。

お知らせ

放送局、受信機からのお知らせを表示します。

1. **設定画面から [お知らせ] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。**

2. **放送局、受信機からお知らせがある場合にメッセージが表示されています。ご確認ください。**

LinkStation の PC 連動電源機能への対応について

本製品はLinkStation(ここではLinkStationとTeraStationを合わせてLinkStationと記載します) の PC 連動電源機能に対応しています。
LinkStation が接続されているネットワークのパソコンを全て電源 OFF、および本製品の電源を OFF(スタンバイ) にすると、自動的に LinkStation の電源が OFF になります。

※ PC 連動電源機能とは、パソコンの電源 ON/OFF に合わせて、自動的に LinkStation の電源を ON/OFF する機能です。

⚠注意
- **本製品の電源ケーブルを抜くなどして電源 OFF にした場合は、正常に PC 連動電源機能が動作しません。本製品付属のリモコン、または本製品前面の電源ボタンで OFF(スタンバイ) にしてください。**
- **PC 連動電源機能で LinkStation の電源を OFF にするには、本製品に LinkStation を登録する必要があります。登録は、LinkStation と本製品の電源を ON にして同じネットワークに 5 分程度接続していれば自動で行なわれます。もし本製品の電源と LinkStation の電源がうまく連動しないときは、一度 LinkStation 内の共有フォルダーにあるファイルを再生してください。LinkStation 内の共有フォルダーに本製品からアクセスすると、LinkStation が本製品に登録されます。再生手順については、P85「DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する」をご参照ください。**

ファイル再生

ネットワーク上や USB コネクターに接続した記憶装置からのファイル再生を説明しています。

パソコンに MediaServer2 をインストールする

本製品と接続するパソコン（再生するファイルを保存しているパソコン）に MediaServer2 をインストールします。MediaServer2 をインストールしたパソコンは、本製品で自動的に認識できるようになります。

⚠注意
- **ファイアウォール機能を持つソフトウェアをお使いの場合、ファイアウォール機能を無効にするか､TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可してください。設定に関する手順については､ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。**
- **プロバイダーから配布される PPPoE 接続ツール（フレッツ接続ツールなど）をパソコンにインストールしている場合には、アンインストールしてください。**

1 パソコンを起動します。

WindowsVista/XP/2000 をお使いの場合、コンピュータの管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

2 付属の CD をパソコンにセットします。

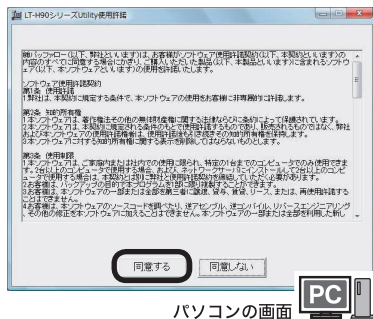
しばらくすると「簡単セットアップ」が起動します。

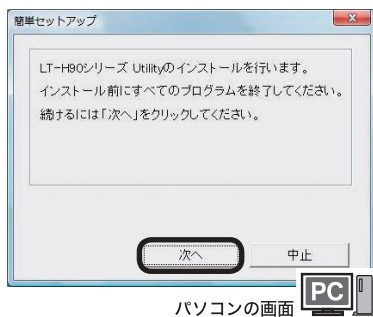
⚠注意 Windows Vista をお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[BuffaloInst.exe の実行] をクリックしてください。また､「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら､[続行] をクリックしてください。

3 「LT-H90 シリーズのインストール」を選択し、［開始］をクリックします。

右の画面が表示されない場合は､付属の CD 内の「BuffaloInst.exe」をダブルクリックしてください。

パソコンの画面

4 使用許諾をよく読み、同意する場合は［同意する］をクリックします。

パソコンの画面

5 ［次へ］をクリックします。

パソコンの画面

6 ［再起動］をクリックします。パソコンが再起動します。

パソコンの画面

以上で MediaServer2 のインストールは完了です。
MediaServer2 をインストールしたパソコンに保存されたファイルを本製品で再生することができます。

⚠注意 **お使いのパソコンによっては、MediaServer2 インストール時に「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されることがあります。**

そのようなときは、［ブロック解除］を選択してください。

［ブロックする］［後で確認する］を選択してしまったときは、P105 を参照してブロックを解除してください。ブロックした状態では、本製品でパソコンを認識できません。

次へ **パソコンのデータを再生する【P58】**

パソコンのデータを再生する

本製品で、MediaServer2 をインストールしたパソコン内のファイルを再生することができます。映像ファイル、音楽ファイル、写真ファイルによって再生方法が異なります。

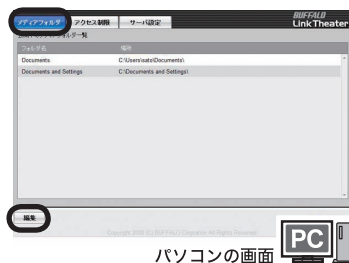
再生するフォルダーを登録する

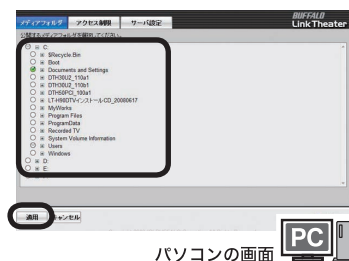
本製品でパソコンのファイルを再生するには、パソコンの画面で再生フォルダーを登録してください。

1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[メディアマネージャ]をクリックします。MediaServer2 がブラウザーで起動します。

メモ Windows Vista をお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。このようなときは、[続行]をクリックしてください。

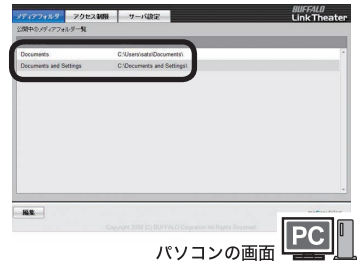
2 [メディアフォルダ]タブを選択し、[編集]をクリックします。

パソコンの画面

3 再生したいファイルがあるフォルダーを選択し、[適用]をクリックします。

パソコンの画面

次のページへ続く

4 追加したフォルダーが表示されます。

パソコンの画面

メモ **画面を閉じるときは、ブラウザーのタイトルバー右の [×] をクリックしてください。**

以上で再生するフォルダーの登録は完了です。

メモ **MediaServer2 の詳細については、ヘルプをご参照ください。MediaServer2 では、アクセス制限等を設定することもできます。**

[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[MediaServer2 ヘルプ] をクリックすると表示されます。

データをテレビで再生する

次のようにパソコンやサーバーのデータをテレビで再生することができます。

⚠注意
- **テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子からの表示ができる状態にしてください。**
- **ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。**

1 本製品の電源を入れます。

※すでに LinkTheater モードで使用しているときは、手順 4 にお進みください。

2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。

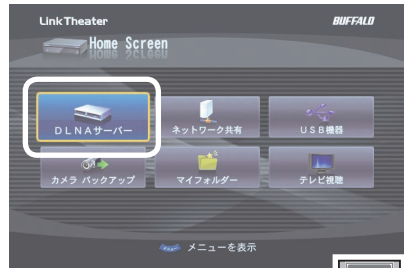
3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

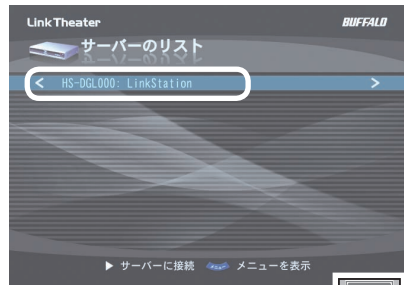
テレビの画面

※「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 20 秒程度かかります)。

はじめに
接続・準備
デジタル放送
ファイル再生
付録

次のページへ続く

4 **[DLNA サーバー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。**

テレビの画面

5 **表示されたサーバーの一覧から、接続したいサーバーを選択し、リモコンの▶ボタンを押します。**

テレビの画面

6 **再生したいジャンル、ファイルを選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。**

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

メモ
- フォルダーを選択してリモコンの [再生 / 一時停止] ボタンを押すと、フォルダーの中のファイルが連続再生されます。
- ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。
  リモコンの [メニュー] ボタンを押します。→ [DLNA 機能設定] → [表示順の変更] →「ソートしない」「タイトル順」「日付順」のいずれかを選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。
- HDD レコーダなどに録画された地上デジタル放送の再生中にリモコンの「字幕」ボタンを押すと字幕を切り換えることができます。
  ※字幕情報が失われているコンテンツでは表示できません。

以上でデータの再生は完了です。

ネットワーク共有フォルダーを検索して再生する

本製品は、MediaServer2 で登録したフォルダー以外にも、次のように Windows でネットワーク共有フォルダーに設定したフォルダーを検索して再生することもできます。

⚠注意
- **テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子から表示ができる状態にしてください。**
- **ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。**

1 本製品の電源を入れます。

※すでに LinkTheater モードで使用しているときは、手順 4 にお進みください。

2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。

3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

※「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 20 秒程度かかります)。

テレビの画面

4 [ネットワーク共有] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※ネットワーク共有フォルダーの検索には数分の時間がかかります。そのままお待ちください。10 分以上待っても応答が無い場合は、本製品の接続を再度ご確認ください。

テレビの画面

次のページへ続く

5 サーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

※共有フォルダーにパスワードが設定されている場合、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。このようなときは、共有フォルダーに設定したユーザー名とパスワードを入力してください。一度入力したユーザー名とパスワードは次回入力しなくてよいようにキャッシュに 1 つだけ保存されます。保存されたユーザー名、パスワードを変更するときは、リモコンの [メニュー] ボタンを押し、[接続パスワードの変更] を選択すると、変更画面が表示されます。

テレビの画面

6 再生したいフォルダー、ファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

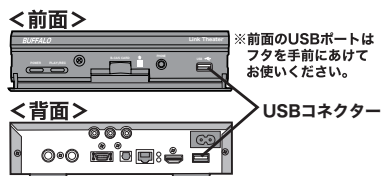
※ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。
リモコンの [メニュー] ボタンを押します。→ [ネットワーク共有機能設定] → [表示順の変更] →「タイトル順」「日付順」「サイズ順」のいずれかを選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。

以上でネットワーク共有フォルダーのデータの再生は完了です。

USB コネクターに接続した機器から再生する

本製品の USB コネクターに接続した機器から再生する場合は、以下の手順で行ってください。

⚠注意
- **テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子からの表示ができる状態にしてください。**
- **ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。**
- **USB 機器を接続したまま本製品の電源を ON すると USB 機器が認識されないことがあります。このようなときは、一度 USB 機器を取り外し、再度取り付けてください。**
- **お使いの USB 機器 (複数ポートを持った USB カードリーダーなど) によっては、認識できないことがあります。あらかじめご了承ください。**

1 本製品の USB コネクターに USB ハードディスクまたは USB フラッシュメモリーを接続します。

2 本製品の電源を入れます。

※すでに LinkTheater モードで使用しているときは、手順 5 にお進みください。

3 リモコンの [TOP] ボタンを押します。

4 [LinkTheater] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

※「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 20 秒程度かかります)。

テレビの画面 TV

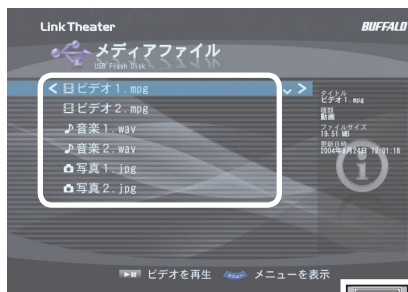
5 [USB 機器] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

次のページへ続く

6 USB デバイスのボリュームラベルを選択し、リモコンの▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

7 再生したいファイルやフォルダーを選択し、リモコンの▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

⚠注意 ・再生中は USB 機器を抜き差ししないでください。本製品のシステムが、停止または再起動をすることがあります。

・ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。
リモコンの［メニュー］ボタンを押します。→［USB 機器機能設定］→［表示順の変更］→「タイトル順」「日付順」「サイズ順」のいずれかを選択してリモコンの［決定］ボタンを押します。

メモ USB コネクターに接続した機器は、アクセスしていない状態であればそのまま取り外してかまいません。

以上で USB コネクターに接続した機器からの再生は完了です。

DVD ISO イメージ の再生について

本製品は、ファイル再生としてネットワーク共有フォルダーや本製品の USB ポートに接続したドライブの場合、*.ISO ファイル、または VIDEO_TS/VIDEO_TS.IFO を含むフォルダーを選択して再生することができます。
再生手順は、P61「ネットワーク共有フォルダーを検索して再生する」、P63「USB コネクターに接続した機器から再生する」をご参照ください。

⚠注意
- **[Link Theater]-[DLNA サーバー] では、*.ISO ファイルに対応した DLNA サーバー (BUFFALO MediaServer2 Ver.2.4 以降で対応) からのみ再生することができます。**
- **コンテンツによっては正常に再生できないことがあります。**
- **メニュー表示には対応していません。**
- **プロテクトが掛かった DVD は再生できません。**
- **1 番目のタイトルトラックのみを再生することができます。**
- **マルチアングルには対応していません。**
- **チャプターごとの再生位置の移動には対応していません。**

ISO ファイルまたは下記のフォルダー構成の場合に再生することができます。

・DVD タイトル名 .ISO　←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。再生履歴にタイトル名が表示されるようになりますので、この部分で再生することを推奨します。

・DVD タイトル名　←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。再生履歴にタイトル名が表示されるようになりますので、この部分で再生することを推奨します。

├VIDEO_TS　←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。

│├ VIDEO_TS.IFO　←このファイルが存在しない場合は DVD ビデオとして認識されません。

│└ ***.VOB　←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと ***.VOB ファイルを通常の MPEG-2 ファイルとして再生することができます。

├AUDIO_TS

メモ **再生中にリモコンの [字幕] ボタンを押すと、字幕を切り替えることができます。**

はじめに
接続・準備
デジタル放送
ファイル再生
付録

ハイビジョンビデオカメラ録画データを再生する

本製品は、ハイビジョンビデオカメラの録画形式で使われるAVCHD形式とHDV形式の両方に対応しています。

メモ **対応ビデオカメラについては、弊社ホームページ(buffalo.jp)をご参照ください。**

パソコンに移動した録画データを再生する

デジタルビデオカメラで撮った録画データをパソコンの共有フォルダーに移動すれば、本製品からテレビに映像を出力することができます。

メモ **Mac OS Xの共有フォルダーにアクセスする方法は、P78をご参照ください。**

直接ビデオカメラを本製品に接続して再生する

ハイビジョン対応のビデオカメラで撮影した映像を、ビデオカメラやメモリーカードに入ったままリビングのテレビで再生することが可能です。本製品のUSBコネクターにカードリーダーやビデオカメラを直接つないで、撮影したビデオをLinkTheaterで再生することができます。
USBコネクターに接続した機器からの再生手順はP63をご参照ください。

⚠注意 **ビデオカメラがマスストレージに対応している必要があります。**

※前面のフタをあけた図です。

本製品に接続したハードディスクに直接保存する

本製品には前面と背面に USB コネクターが各 1 個ずつあります。USB コネクターにハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラ、もう一方の USB コネクターにハードディスクをつないで、ハードディスクに映像や画像などを直接保存することができます。

ハイビジョンカメラ、デジタルカメラ等

LinkTheater
※前面のフタをあけた図です。

USB 接続ハードディスクまたは LinkStation/TeraStation

■ 対応カメラ
- DCF 規格 (DCIM/100ABCDE/ABCD0001.xxx)
- SD-VIDEO 規格 (SD_VIDEO/ABC001/ABC001.xxx)
- メモリースティックビデオフォーマット (MP_ROOT/100ABCDE/ABCD0001.xxx)
- AVCHD 規格 (AVCHD/BDMV/STREAM/00001.MTS)

■対応ハードディスク
- FAT32 でフォーマットされたもの
- 書き込み可能
- ハードディスクのみ、フラッシュメモリーなどは非対応
- 本製品と同じネットワークに接続されている LinkStation/TeraStation

1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。

※すでに LinkTheater モードで使用しているときは、手順 4 にお進みください。

3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

※「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 20 秒程度かかります)。

テレビの画面

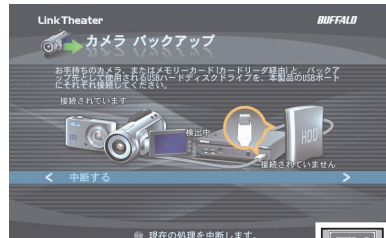
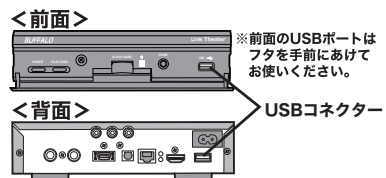
次のページへ続く

4 [カメラバックアップ] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面

5 バックアップ先が、USBハードディスクか、LinkStation/TeraStationかを選択し、▶ボタンを押します。

テレビの画面

6 画面の指示にしたがって、カメラとハードディスクを接続します。

テレビの画面

メモ
- 上記の画面は、手順５でUSBハードディスクを選択した場合の画面です。LinkStation/TeraStationを選択の場合、画面の指示にしたがってバックアップ先の共有フォルダーを選択してください。
- 複数台のカメラやハードディスクが接続されていると、カメラおよびハードディスクの選択画面が表示されます。画面の指示にしたがってバックアップしたいデータが入っているカメラ、バックアップ先に使用したいハードディスクを選択してください。

次のページへ続く

メモ **カメラ側の設定をマスストレージモードに変更する必要があります。変更の方法はカメラに付属のマニュアルをご参照ください。手順例は次の通りです。**

■ ソニー製 HDR-SR1 の例

1．ビデオカメラの電源を ON にします。
2．USB ケーブルを接続します。
3．ビデオカメラの設定画面（USB 機能選択）で、[パソコン接続] を選択します。

※ ハードディスクに録画した場合と、メモリースティックに録画した場合で選択するボタンは異なります。詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

■ サンヨー製　Xacti DMX-HD1000 の例

【液晶を閉じた状態でクレードルに設置している場合】

1．USB ケーブルを接続します。
2．クレードルのボタンを押します。

詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

【液晶を開いている場合】

1．ビデオカメラの電源を ON にします。
2．USB ケーブルを接続します。
3．ビデオカメラの設定画面（USB 接続）で [パソコン] を選択します。

詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

■ ビクター製 Everio GZ-MG330 の例

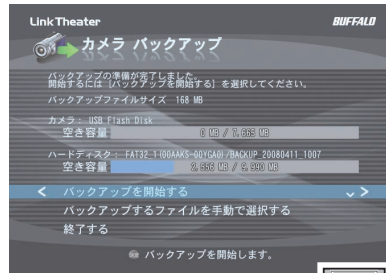
1．ビデオカメラの電源を ON にします。
2．USB ケーブルを接続します。
3．ビデオカメラの設定画面で [パソコンで見る] を選択します。

詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

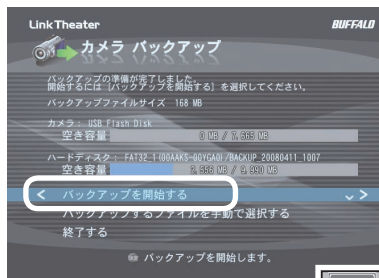
7　バックアップファイルの検出が完了すると次の画面が表示されます。

メモ **画面には、バックアップするファイルサイズ、バックアップ先の空き容量等が表示されます。**
表示されているディスク領域の青い部分は空き領域です。

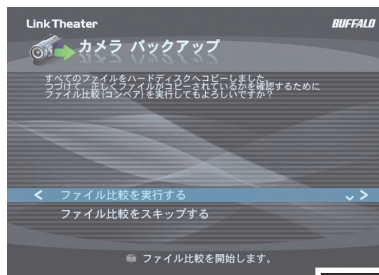
テレビの画面

次のページへ続く

8 ［バックアップを開始する］を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

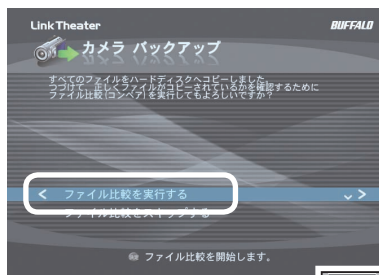
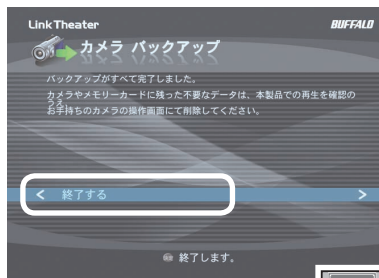
メモ ［バックアップするファイルを手動で選択する］を選択すると、バックアップするファイルやフォルダーを選ぶことができます。
フォルダーを選択した場合、フォルダー内の全てのファイルがバックアップされます。空のフォルダーはバックアップされません。ファイル選択画面で、一番上のディレクトリから、リモコンの◀ボタンを押すと再度バックアップファイル検出中の画面になります。

9 バックアップが完了すると次の画面が表示されます。

テレビの画面

メモ バックアップファイルは、下記フォルダーにバックアップされています。
例）BACKUP_20080201_1224
※ BACKUP_の後に表示される文字は、バックアップするファイルの中で一番新しいタイムスタンプの日時となります。

10 ［ファイル比較を実行する］選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

メモ ファイル比較とは、バックアップしたファイルと元のファイルを比較してバックアップが正常に完了したかを確認するための処理です。確認が不要な方は、［ファイル比較をスキップする］を選択してください。

次のページへ続く

11 [終了する] 選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

以上で保存は完了です。

お気に入りフォルダーの登録とアクセス

お気に入りの動画・音楽・写真データのフォルダーを登録することができます。お気に入り機能の使い方は以下の手順になります。

お気に入りフォルダーの登録

1 本製品の電源を入れます。

※すでに LinkTheater モードで使用しているときは、手順 4 にお進みください。

2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。

3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

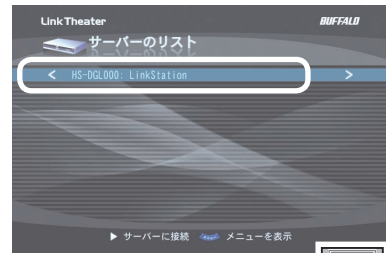
※「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 20 秒程度かかります)。

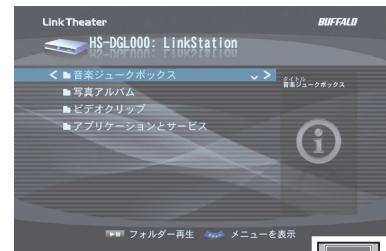
テレビの画面

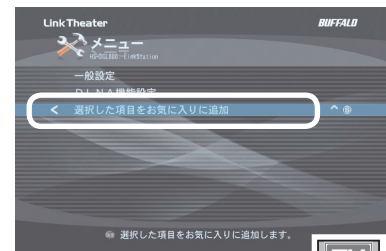
次のページへ続く

4 [DLNA サーバー] を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

テレビの画面

5 表示されたサーバーの一覧から、接続したいサーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

6 お気に入りに登録したい、フォルダー・ファイルを選択し、リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

テレビの画面

7 [選択した項目をお気に入りに追加] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

以上でお気に入りフォルダーの登録は完了です。

お気に入りフォルダーへのアクセス

1　本製品の電源を入れます。

※すでに LinkTheater モードで使用しているときは、手順 4 にお進みください。

2　リモコンの [TOP] ボタンを押します。

3　[LinkTheater] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

※「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 20 秒程度かかります)。

テレビの画面

4　[マイフォルダー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面

5　[お気に入り] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

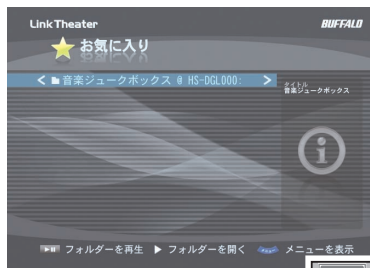
テレビの画面

次のページへ続く

6 アクセスしたいフォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

メモ

- **お気に入りに登録したフォルダーを削除するには､リモコンの[メニュー]ボタンを押し、表示されたメニューから[お気に入りから削除]を選択し､リモコンの[決定]ボタンを押してください｡**
- **フォルダを選択してリモコンの[再生/一時停止]ボタンを押すと、フォルダーの中のファイルが連続再生されます。**

以上でお気に入りフォルダーへのアクセスは完了です。

最近再生したコンテンツの再生

最近再生した動画・音楽・写真データの履歴から簡単に再生することができます。

1 本製品の電源を入れます。

※すでにLinkTheaterモードで使用しているときは、手順4にお進みください。

2 リモコンの[TOP]ボタンを押します。

3 [LinkTheater]を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

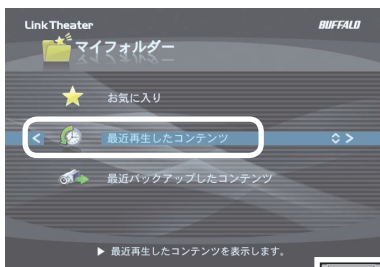
※「LinkTheaterに切り替えますか？」と表示されたら、[はい]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押してください(切り替わるまで20秒程度かかります)。

テレビの画面

次のページへ続く

4 ［マイフォルダー］を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

テレビの画面

5 ［最近再生したコンテンツ］を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

6 再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

以上で最近再生したコンテンツの再生は完了です。

最近バックアップしたコンテンツの再生

トップ画面の [カメラバックアップ] で過去にバックアップしたコンテンツをリストから簡単にアクセスすることができます。

1 本製品の電源を入れます。

※すでに LinkTheater モードで使用しているときは、手順 4 にお進みください。

2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。

3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

※「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 20 秒程度かかります)。

テレビの画面

4 [マイフォルダー] を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。

テレビの画面

5 [最近バックアップしたコンテンツ] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

次のページへ続く

6 再生したいファイルがあるフォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

7 再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

メモ　リモコンのメニューボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。

一覧から１件削除

一覧から選択したフォルダーを削除します。実ファイルは削除されません。

一覧から全件削除

一覧からすべてのフォルダーを削除します。実ファイルは削除されません。

以上で最近バックアップしたコンテンツの再生は完了です。

Mac OS X の共有フォルダーにアクセスするには

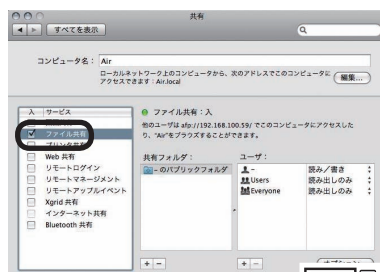
Mac OS X に共有フォルダーを設定すると、本製品から共有フォルダーの動画･音楽･写真データを再生することができます。

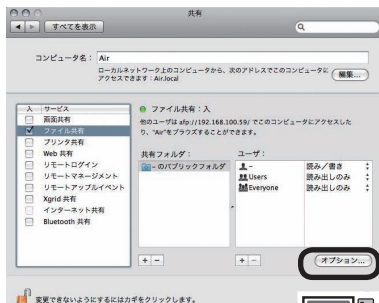
Mac OS X 側の設定

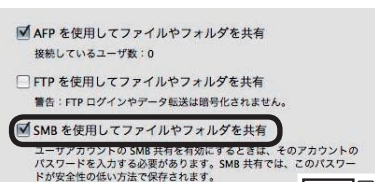
< Mac OS X 10.5 の例>

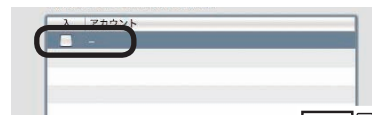
1　アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

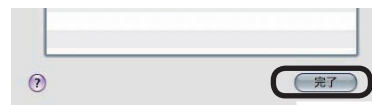
2　[共有] をクリックします。

3　[ファイル共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。

次のページへ続く

4　[オプション ...] をクリックします。

パソコンの画面

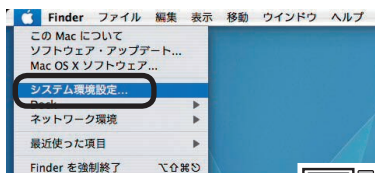
5　[SMB を使用してファイルやフォルダを共有] をクリックします。

パソコンの画面

6　共有するアカウントを選択します（パスワードの入力画面が出るのでアカウントのパスワードを入力します)。

パソコンの画面

7　[完了] をクリックします。

パソコンの画面

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

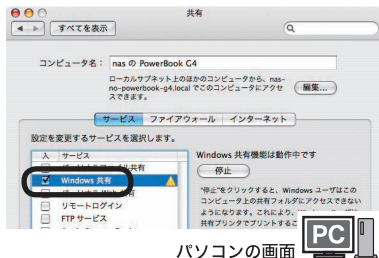
< Mac OS X 10.4 の例>

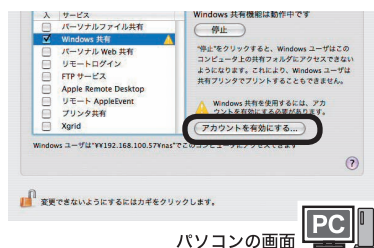
1　アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

パソコンの画面

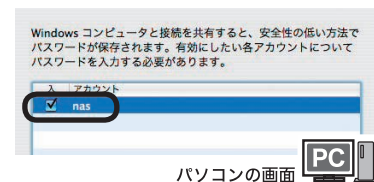
次のページへ続く

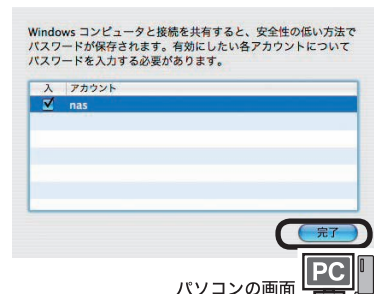
2 [共有] をクリックします。

パソコンの画面

3 [Windows 共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。

パソコンの画面

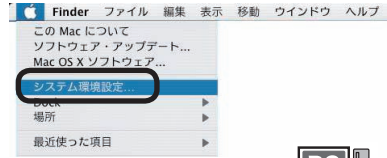
4 [アカウントを有効にする ...] をクリックします。

パソコンの画面

5 共有するアカウントを選択します（パスワードの入力画面が出るのでアカウントのパスワードを入力します）。

パソコンの画面

6 [完了] をクリックします。

パソコンの画面

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

< Mac OS X 10.3 の例>

1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

パソコンの画面

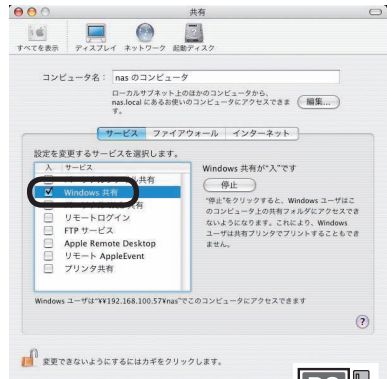
2 [共有] をクリックします。

パソコンの画面

3 [Windows 共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。

パソコンの画面

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

はじめに
接続・準備
デジタル放送
ファイル再生
付録

＜Mac OS X 10.2 の例＞

1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [システム] 欄にある [アカウント] をクリックします。

3 ログインに使用するアカウントをリストから選択して、[ユーザを編集 ...] をクリックします。

4 パスワードを入力し、[ユーザが Windows からログインするのを許可する] を選択して、[保存] をクリックします。

5 [OK] をクリックします。

6 [すべてを表示] をクリックします。

7 [インターネットとネットワーク] 欄の [共有] をクリックします。

8 [Windows ファイル共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

※ Mac OS X 10.2 より前の Mac OS のホームフォルダーにアクセスすることはできません。

本製品側の設定

1 本製品の電源を入れます。

※すでに LinkTheater モードで使用しているときは、手順 4 にお進みください。

2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。

3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

※「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 20 秒程度かかります)。

テレビの画面 TV

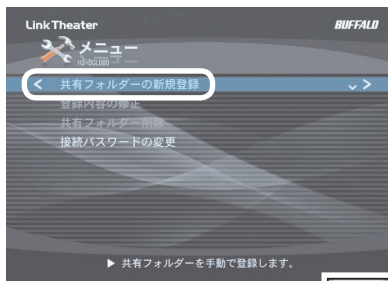
4 [ネットワーク共有] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

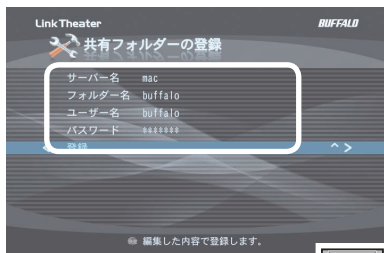
テレビの画面 TV

5 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

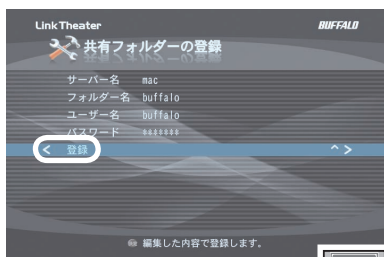
テレビの画面 TV

次のページへ続く

6 [共有フォルダーの新規登録] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

7 サーバー名（またはサーバーの IP アドレス）、共有フォルダー名（MAC の場合は選択したアカウント名と同じです）、ユーザー名、パスワードを入力します。

メモ 日本語などの２バイト文字を入力することはできません。

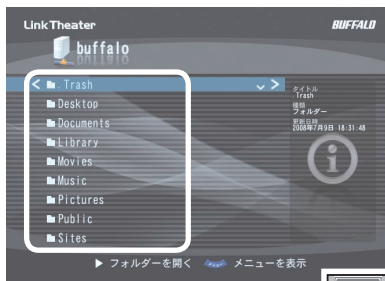
テレビの画面

8 [登録] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

9 登録した共有フォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

次のページへ続く

10 再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

以上で Mac OS X の共有フォルダーにあるファイルの再生は完了です。

DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する

DLNA(Digital Living Network Alliance) について

DLNA（デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス）は、デジタル機器 (パソコン・家電・モバイル機器など) の相互接続環境を実現するために業界標準技術の製品設計ガイドライン「ホーム・ネットワーク・デバイス・インターオペラビリティ・ガイドライン」を定めています。

本製品は、DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生することができます。
弊社製 DLNA 対応 LinkStation/TeraStation については、弊社ホームページ (buffalo.jp) にてご確認ください。LinkTheater のサーバー選択画面で、DLNA 対応メディアサーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P59「データをテレビで再生する」と同様です。
DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生するには、メディアサーバーの設定画面でメディアサーバー機能を有効にしてください。設定方法については、メディアサーバーのマニュアルをご参照ください。

Windows Media Connect サーバーのデータを再生する

Windows Media Connect について

Windows XP で Microsoft Windows Media Connect をインストールすると、パソコンに保存している音楽、写真、ビデオを、UPnP プロトコルを使用して本製品で再生することができるようになります。
Windows Media Connect は、Windows Update([カスタムインストール]-[ソフトウェア用の更新プログラムを追加で選択]) よりインストールすることができます。

本製品は、Windows Media Connect がインストールされた Windows XP パソコンのデータを再生することができます。
LinkTheater のサーバー選択画面で、Windows Media Connect サーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P59「データをテレビで再生する」と同様です。

Windows Media DRM で著作権管理されたコンテンツを再生する

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) について

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) は、コンピューター、デジタル オーディオ プレーヤー、またはネットワークデバイスで再生する場合、コンテンツを保護し、安全に配信するプラットフォームです。

Windows Media DRM は、Windows Media Connect サーバと付属の BUFFALO メディアサーバーに対応しています。
LinkTheater のサーバー選択画面で、Windows Media DRM に対応しているサーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P59「データをテレビで再生する」と同様です。
※ Windows Media Player は最新のバージョンをお使いください。
※サーバーとなるパソコンであらかじめ再生し、ライセンスを取得しておく必要があります。
※ Windows 2000 には対応していません。
※ DRM の保護レベルによっては、再生できないことがあります。
※ビデオ出力は D1：480i となります。

⚠注意 **D 端子をコンポーネントに変換して出力している場合、解像度が D1：480i に変更された際に画面が表示されなくなる場合があります。このようなときは、テレビの表示解像度を D1:480i に変更してください。設定方法については、テレビのマニュアルをご参照ください。**

Wake on LAN 機能への対応について

本製品は、DLNA 対応のハードディスクレコーダーなどの Wake on LAN 機能に対応しております。スタンバイ状態にした DLNA 対応機器を、本製品の設定画面の DLNA サーバー一覧画面から選択するだけで、Wake on LAN 機能により DLNA 対応機器が起動しアクセスできるようになります。

※ DLNA 対応機器が Wake on LAN 機能に対応している必要があります。

1 本製品の電源を入れます。

※すでに LinkTheater モードで使用しているときは、手順 4 にお進みください。

2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。

3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

※「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 20 秒程度かかります)。

テレビの画面

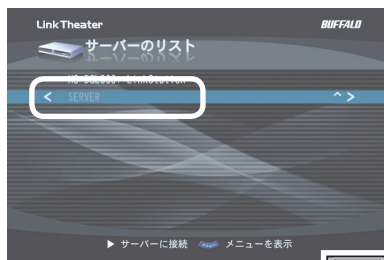
4 [DLNA サーバー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面

5 Wake on LAN 対応の DLNA 対応機器選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

次のページへ続く

メモ

- **過去に検出した DLNA 対応機器は画面に記録されています。記憶されていても検出されなかった DLNA 対応機器は、未検出サーバーとして灰色の文字で表示されます (過去にアクセスしていない DLNA 対応機器は表示されません)。**
- **DLNA 対応機器に接続できなかった場合、Wake on LAN 信号を送信して DLNA 対応機器が起動するまで「待ち状態」に入ります。「待ち状態」をキャンセルしたいときは、リモコンの方向キー◀ボタンを押してください。**
- **リモコンの [メニュー] ボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。**
  選択サーバーを一覧から削除
  サーバー一覧画面で選択した灰色の文字の未検出サーバーを1件削除します。
  未検出サーバーを一覧からすべて削除
  サーバー一覧画面に表示されているすべての灰色文字の未検出サーバーを削除します。
  MAC アドレス
  Wake on LAN 信号に使用する DLNA 対応機器の MAC アドレスを変更します。(通常は自動的に認識されます。実際の DLNA 対応機器の MAC アドレスとは異なる場合のみこちらから変更します。)

イーサネットコンバーターをご利用の場合、DLNA 対応機器の Mac アドレスが正しく認識できず、Wake on LAN に失敗することがあります。その場合は正しい MAC アドレスに変更してください。MAC アドレスの確認方法は DLNA 対応機器のマニュアルをご参照ください。

以上で Wake on LAN 機能対応の DLNA サーバーへのアクセスは完了です。

ファイル再生のメニュー

ファイル再生に関する設定をするときは、ファイル再生のメニューから設定を行います。

1 本製品の電源を入れます。

※すでに LinkTheater モードで使用しているときは、手順 4 にお進みください。

2 リモコンの[TOP]ボタンを押します。

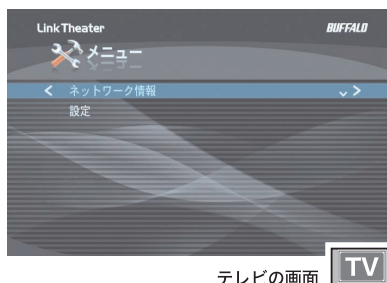
3 [LinkTheater] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

※「LinkTheater に切り替えますか？」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください (切り替わるまで 20 秒程度かかります)。

テレビの画面

4 右の画面が表示されたら、リモコンの [メニュー] ボタンを押すと、設定項目を表示します。

テレビの画面

5 各項目の設定を行うことができます。

テレビの画面

次のページへ続く

メモ ファイル再生のメニューからできること

ファイル再生のメニュー画面から以下の項目を設定することができます。

- **ネットワーク情報**
  本製品が接続されているネットワークの状態を表示します。
- **一般設定**
  [写真表示間隔] では、写真ファイルをテレビ画面に表示する時間 (3 秒～ 2 分) を設定できます。
- **ＤＬＮＡ機能設定**
  [連続再生] では、ＤＬＮＡサーバーでのビデオと音楽の自動連続再生の有無を設定できます。
  [表示順の変更] では、ＤＬＮＡサーバーでのファイル一覧の表示順序を変更できます。
- **ネットワーク共有機能設定**
  [連続再生] では、ネットワーク共有でのビデオと音楽の自動連続再生の有無を設定できます。
  [表示順の変更] では、ネットワーク共有やＵＳＢ機器でのファイル一覧の表示順序を変更できます。
- **ＵＳＢ機器機能設定**
  [連続再生] では、ＵＳＢ機器でのビデオと音楽の自動連続再生の有無を設定できます。
  [表示順の変更] では、ネットワーク共有やＵＳＢ機器でのファイル一覧の表示順序を変更できます。

付録

ルーターの無い環境での手動設定手順、ファームウェアのアップデート方法、Link-Stationのデータを再生する方法、用語集、困ったときは、仕様について説明しています。

ルーターをお持ちでない方へ（IP アドレスを手動で設定する手順）

ここでは、パソコンの IP アドレスを確認し、本製品の IP アドレスを手動で設定する手順を説明します。付属ソフトウェアをインストールしたパソコンを認識しないときや、インターネットをお使いの環境でルーターを使用していない（DHCP サーバー機能がない）場合のみ行ってください。

メモ 画面で表示される数字や文字はお使いの環境によって異なります。

パソコンの IP アドレスを確認する

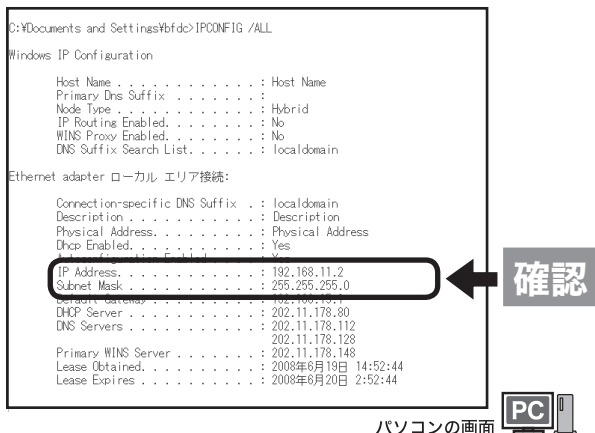
1 以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

[スタート] － [（すべての）プログラム] － [アクセサリ] － [コマンドプロンプト] を選択します。

2 画面に「C:¥>」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

次のページへ続く

3 「IP Address(IPv4 アドレス)」欄と「Subnet Mask(サブネットマスク)」欄に、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。

パソコンの画面

以上でパソコンの IP アドレス確認は完了です。
続いて P93 の手順で本製品の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
本製品に設定する IP アドレスやサブネットマスクの値は、以下の「本製品に設定する IP アドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

本製品に設定するサブネットマスクの値は？

本製品のサブネットマスクは、パソコンのサブネットマスクと同じ値を設定します。

パソコンのサブネットマスク
255.255.255.0　の場合

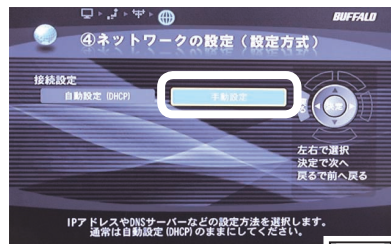
本製品のサブネットマスク
255.255.255.0　に設定します。

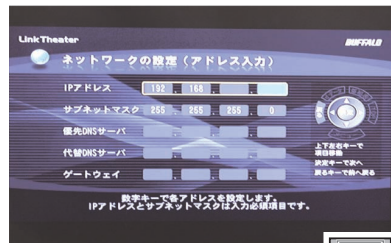
同じ値にする

本製品のIPアドレスを設定する

1　設定画面から[ネットワーク設定]を選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。

テレビの画面

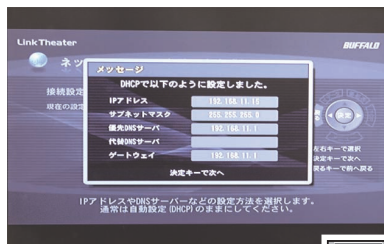
2　[手動設定]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

テレビの画面

3　IPアドレス、サブネットマスク、優先DNSサーバー、代替DNSサーバー、ゲートウェイを入力し、[決定]ボタンを押します。

テレビの画面

⚠注意　IPアドレスがパソコンの値と重複しないようにしてください。設定する値が分からないときは、P92の「本製品に設定するIPアドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

例：パソコンのIPアドレスが「192.168.11.2」サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、本製品のIPアドレスは「192.168.11.12」サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定します。

メモ　IPアドレス、サブネットマスク、DNSサーバー、ゲートウェイは、リモコンの数字キーで入力します。「.（ピリオド）」は、[1]ボタンを2回連続して押すことで入力できます。

4 設定したIPアドレスを確認し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

テレビの画面 TV

5 プロキシサーバーの使用する/しないを選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

メモ [使用する]を選択した場合画面の指示にしたがって、HTTP(HTTPS)プロキシサーバーのIPアドレスとポート番号を入力してください。
リモコンの数字キーで数字を入力し、方向キーで項目を移動します。[決定]ボタンで次の画面へ進みます。

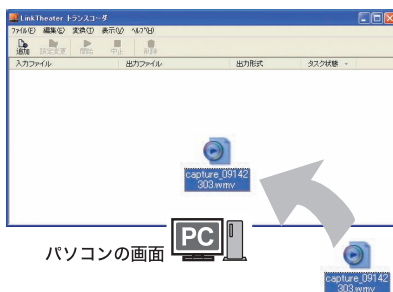
テレビの画面 TV

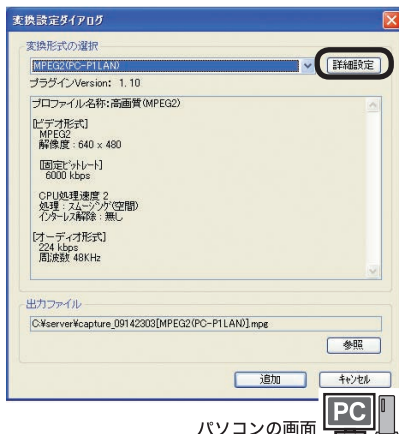
以上でIPアドレスの設定は完了です。

トランスコーダーについて

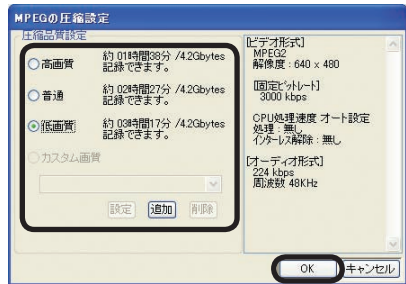
本製品でお手持ちの動画ファイルが再生できなかったり、映像が滑らかに再生できないときは、あらかじめ付属のトランスコーダーで MPEG2 ファイルにデータを変換します。

1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[LT-H90]-[トランスコーダ]-[トランスコーダ]をクリックします。

2 変換したいファイルをドラッグ&ドロップします。

パソコンの画面

3 [詳細設定]をクリックします。

パソコンの画面

次のページへ続く

4 圧縮品質を選択 (「高画質」を選択しても 8Mbps 以下となります) し、[OK] をクリックします。

パソコンの画面 PC

お好みの画質を個々に詳細の設定をしたいときは、[追加] をクリックし、詳細項目を設定してください。設定した項目は、[カスタム画質] として選択できるようになります。

設定できる項目は次の通りです。

・調整モード
調整モードを固定ビットレート（CBR)、可変ビットレート（CVBR)、固定品質（CQ）から選択します。各モードの特徴は、「用語集」(P107）を参照してください。また、ここで選択したモードによって「レート設定」で設定できる項目が異なります。

・ビットレート
設定する値が大きいほど映像がきれいになりますが、録画したファイルの容量も大きくなります。設定可能範囲は 192 ～ 8000(kbps) です。
調整モードで「可変ビットレート」を選択している場合は、ここで設定したビットレートを中心に最大ビットレートから最小ビットレートの範囲で録画します。設定する値は、下で設定する「最大ビットレート」と「最小ビットレート」の範囲に収まるように設定してください。

・最大ビットレート
録画するときの最大ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は、上項目の「ビットレート」の値～ 8000(kbps) です。

・最小ビットレート
録画するときの最小ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は 192(kbps) ～上項目の「ビットレート」の値です。

・高圧縮高画質
調整モードで「固定品質」を選択した場合のみ設定できます。スライドバーをドラッグして画質を設定します。ゲージを高圧縮に近づけるとファイルサイズは小さくなりますが画質が悪くなります。ゲージを高画質に近づけると、ファイルサイズは大きくなりますが高画質となります。

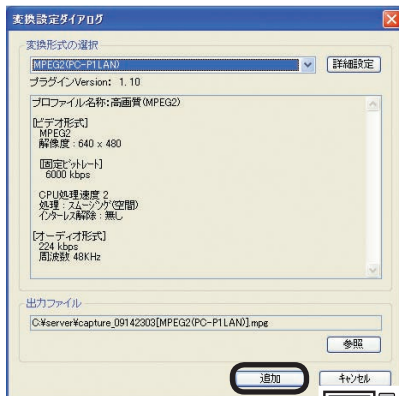
・インターレス解除
ボブに設定すると、ノイズは残りますがメディアンに比べシャープな画像になります。
メディアンは、画像をぼかしノイズを除去します。

・CPU 処理速度
値が高いほど画質が向上しますが、CPU（パソコン）にかかる負荷が大きくなります。通常は、0 ～ 2 の値を使用してください。

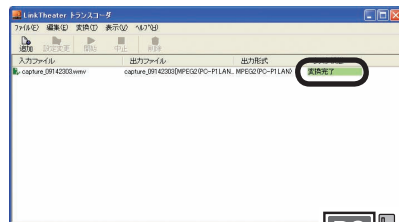
・オーディオビットレート
ビットレートは高ければ高いほど音質は良くなりますが容量も大きくなります。

次のページへ続く

5 ［追加］をクリックします。

メモ ［出力ファイル］-［参照］をクリックすれば、変換後のファイルの保存先、ファイル名を指定することができます。初期設定では、変換元ファイルと同じ場所、ファイル名末尾に［MPEG2(PC-P1LAN)］_000 を追加して保存します（000 は同一名ファイルを複数回変換したときカウントアップされた番号となります）。

パソコンの画面

6 ［タスク状態］が、［変換待ち］→［変換中］→［変換完了］と表示されます。

メモ 変換を中止するには、［中止］をクリックしてください。中止したファイルを変換するには［開始］をクリックしてください。

パソコンの画面

以上でデータの変換は完了です。

ファームウェアのアップデート方法

本製品のファームウェア（内部ソフトウェア）をアップデートする手順を説明します。

⚠注意
- **ファームウェアのアップデートをするには、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。本製品と接続したルーターやエアステーションがインターネットに接続されていることを確認してください。**
- **アップデート中は、本製品の電源を切らないでください。また、ボタン操作も行わないでください。アップデートは通常５～10分で完了しますが、お使いのネットワーク環境（ネットワーク回線が込み合っている場合など）によっては 40 分程度かかることがあります。**
- **ファームウェアアップデート時、本製品の USB コネクターにはハードディスク等の機器を接続しないでください。**

次のページへ続く

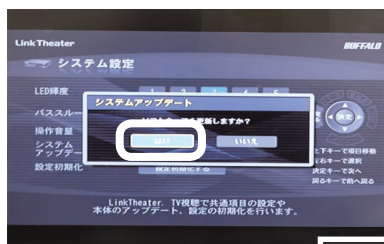
1　設定画面から [システム設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面　TV

2　[アップデートする] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面　TV

3　[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

※アップデート完了後、自動的に本製品が再起動します。

テレビの画面　TV

以上でファームウェアのアップデートは完了です。

困ったときは

電源が入らない

原因①：
電源ケーブルがコンセントまたは本製品から外れている
対策①：
電源ケーブルをコンセントおよび本製品に接続してください。

映像や音声が出ない

原因①：
テレビの接続が間違っている
対策①：
正しく接続してください。【P20、21】

原因②：
入力を正しく選択していない
対策②：
テレビの入力を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。

原因③：
本製品やテレビのミュート (消音) が有効になっている
対策③：
リモコンの [消音] ボタンを押して消音機能を無効にしてください。テレビの消音機能を無効にする手順はテレビに付属のマニュアルを参照ください。

原因④：
DirectX が破損している、または削除されている
対策④：
付属の CD をパソコンにセットし、簡単セットアップから [DirectX のインストール] を選択してください。以降が画面のメッセージにしたがって DirectX を再インストールしてください。

原因⑤：
本製品の表示解像度、縦横比率と接続しているテレビが合っていない
対策⑤：
P49 に記載の「テレビ画面設定」設定と異なるテレビを接続しても映像は表示されません。表示解像度、縦横比率に合ったタイプのテレビに接続してください。

リモコンで操作できない

原因①：
電池が入っていない
対策①：
電池をリモコンにセットしてください

原因②：
電池が消耗している
対策②：
新しい電池と交換してください

原因③：
電池の入れ方が間違っている
対策③：
電池の極性（+、−）を確認して、正しく入れてください

原因④：
リモコンをテレビに向けている
対策④：
リモコンは本製品に向けて操作してください。

原因⑤：
リモコンと本製品の間に障害物がある
対策⑤：
障害物をなくすか、避けてお使いください。

原因⑥：
リモコンと本製品の間隔が遠い
対策⑥：
リモコンを本製品に近づけて操作してください。

登録フォルダーに入れたファイルを認識できない

原因①：
ファイル名に 2 バイトコード文字（全角文字）を使用している
対策①：
ファイル名に 2 バイトコード文字が使用されていると正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は、ファイル名を変更してください。

本製品でパソコンが認識できない

原因①：
LAN ケーブルが接続されていない
対策①：
本製品およびパソコンに LAN ケーブルが接続されているか確認してください (カチッと音がするまで差し込んでください)。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因②：
ケーブルが間違っている（パソコンと直接接続する場合）
対策②：
パソコンと本製品を直接接続する場合は、クロスケーブルが必要です。別途クロスケーブルを用意し、接続してください。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因③：
本製品付属ソフトをインストールしていない
対策③：
付属 CD をパソコンにセットし、簡単セットアップから付属ソフトをインストールしてください。

原因④：
PPPoE 接続ツール（フレッツ接続ツールなど）がインストールされている
対策④：
PPPoE 接続ツールをアンインストールしてください。

原因⑤：
ルーターやアクセスポイントが故障している
対策⑤：
どうしてもルーターやアクセスポイントに接続した環境で認識できないときは、「パソコンと直接接続する場合」(P24) を参照して、パソコンと直接本製品を接続してお使いください。

原因⑥：
IP アドレスが間違っている
対策⑥：
「ルーターをお持ちでない方へ」（P91）を参照して、本製品の IP アドレスとパソコンの IP アドレス「***.***.***.;;;」（「*」や「;」は数字）の ** 部分が同じであることを確認してください。

はじめに
接続・準備
デジタル放送
ファイル再生
付録

原因⑦：

ファイアウォール機能を持つソフトがインストールされている

対策⑦：

ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品からパソコンを認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。以下では、ファイアウォール機能を無効にする手順を例として記載します。

【トレンドマイクロ社ウイルスバスター 2008 ファイアウォール無効化手順】

以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1.[スタート]-[(すべての) プログラム]-[ウイルスバスター 2008]-[ウイルスバスター 2008 を起動] を選択します。
2. メイン画面左側の［不正侵入対策 / ネットワーク管理］をクリックし、［パーソナルファイアウォール］欄にある [有効] をクリックします。
3. ファイアウォール機能が無効に切り換わったのを確認し、画面右上の [×] をクリックし、メイン画面を終了します。

以上で設定は完了です。

【Norton Internet Security 2008 ファイアウォール無効化手順】

以下の手順で Norton Internet Security を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Norton Internet Security」を有効にしてください。

1.[スタート]-[(すべての) プログラム]-[Norton Internet Security]-[Norton Internet Security] を選択します。
2.［設定］をクリックします。
3.［Web 設定］→ [ファイアウォール] の順にクリックします。
4.[オフにする] をクリックします。
　※有効にするときは [オンにする] をクリックします。
5. ファイアウォール機能をオフにする期間を選択し、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows Vista ファイアウォール無効化手順】

※本ページのはじめに記載されている TCP ポートを使用許可することを推奨します。

以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1.［スタート］ー［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.［セキュリティ］をクリックします。
　※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティ］項目はありません。手順３へ進みます。
3.［Windows ファイアウォール］の［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックします。
4.[ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
5.[Windows ファイアウォールの設定] 画面の [全般] タブの [無効（推奨されません）] にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows XP SP2(サービスパック 2) ファイアウォール無効化手順】

※前ページのはじめに記載されている TCP ポートを使用許可することを推奨します。
以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1.［スタート］－［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.［セキュリティセンター］をクリックします。
 ※ コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティセンター］項目はありません。手順３へ進みます。
3.［Windows ファイアウォール］をクリックします。
4.「無効（推奨されません）」にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

映像、音楽、写真を再生できない

原因①

再生しているファイルの種類、画質、エンコード条件が本製品にあっていない

対策①

ファイルの種類や画質、エンコード条件によって本製品で再生できない場合があります。本製品で再生できる形式のファイルを再生してください (P114)。

原因②：

ファイルが壊れている

対策②：

ファイルが壊れている場合は再生できません。

原因③

映像と音声がインターリーブされていない

対策③

インターリーブされていないAVIファイルは再生できません。AVIファイル作成時は、インターリーブする設定で作成してください。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

原因④

著作権保護されたファイルを再生している

対策④

本製品は著作権保護されたファイルを再生できません。著作権保護されていないファイルを再生してください。

リピートボタンを押しても動作しない

原因①：

サーバーの仕様によっては、リピートできないフォルダーがあることがあります。

対策①：

再生したいファイルを別のフォルダーに移動してお試しください。

映像が正しく表示されない

原因①：
NTSC 方式以外のテレビ方式で記録された映像を再生している
対策①：
NTSC 方式以外の方式で記録された映像は正常に表示されないことがあります。

原因②：
ビデオ機器を経由させテレビに接続している
対策②：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機器を経由させると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、テレビに直接接続してください。

原因③：
ビデオ機能を搭載したテレビに接続している
対策③：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機能を搭載したテレビに接続すると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、ビデオ機能が搭載されていないテレビと接続してください。

再生するとコマ落ち、音飛びする

原因①：
本製品を接続したネットワークで他の機器が通信している
対策①：
本製品の再生中に他の機器で通信を行っていると、ネットワークが混雑しコマ落ちや音飛びすることがあります。コマ落ちや音飛びする場合は、他の機器の通信を終了してから再生してください。

原因②：
再生したファイルの種類や画質、エンコード条件が本製品とあっていない
対策②：
ファイルの種類や画質、エンコード条件によってコマ落ちや音飛びすることがあります。本製品の条件にあったファイルを再生してください (P114)。

原因③：
ビットレートが P114 に記載された値を超えている
対策③：
P95 に記載のトランスコーダー、または別途エンコードソフトウェアを用意し、ビットレートを小さくしてください。

テレビで見たとき端 (外周部) の映像がカットされている、映像がずれて見える

一般的にテレビは映像信号の外周部を少しカットして表示するオーバースキャン表示方式を使用しています。テレビによってカットする量に差があり、お使いのテレビによっては、映像の端 (外周部) がカットされて見えたり、映像が左右または上下にずれて見えることがあります。

MediaServer2 がブロックされて本製品でパソコンを認識できない (Windows Vista/XP)

付属ソフトウェアのインストール後、パソコンを再起動したとき、「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されることがあります。
このようなときは、[ブロックの解除] をクリックしてください。

[後で確認する] をクリックしてしまった場合
MediaServer2 を再起動してください。再び「このプログラムをブロックし続けますか ?」と表示されます。[ブロックの解除] をクリックしてください。

[ブロックする] をクリックしてしまった場合
次の手順でファイアウォールの設定を変更してください。

Windows Vista
1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [セキュリティ] の [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。
3. [ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
4. [Windows ファイアウォールの設定] 画面の [例外] タブの中の [プログラムまたはポート] の中の [mediaserver.exe] にチェックを入れて [OK] をクリックします。

Windows XP
1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [ネットワークとインターネット接続]-[Windows ファイアウォールの設定を変更する] をクリックします (または [Windows ファイアウォール] をダブルクリックします)。
3. [例外] タブをクリックします。
4. [mediaserver.exe] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。[OK] をクリックします。

ケーブルテレビのパススルー方式・トランスモジュレーション方式に対応していますか

パススルー方式のみ対応しています。ご利用のケーブルテレビがパススルー方式 (*1) に対応しているかどうかは、CATV 事業者へ確認してください。
トランスモジュレーション方式には対応していません。
*1　同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式ともに対応

ハードディスクに録画できる時間のめやすについて知りたい

接続した USB ハードディスクの録画可能時間は、「録画視聴設定」で確認できます。
1. リモコンの [TOP] ボタンを押します。
2. [設定] を選択し、リモコンの設定ボタンを押します
3. [録画視聴設定] を選択し、リモコンの設定ボタンを押します。
4. [HDD 情報を表示する] を選択し、リモコンの設定ボタンを押します。
5. ハードディスクの使用領域と残りの録画時間が確認できます。

参考：録画可能時間はハードディスクの容量によって異なります。めやすの時間は次のとおりです。
120GB：約 19 時間、320GB：約 51 時間、500GB：約 79 時間

録画画質の設定を変更することはできますか

録画画質は固定です。画質を変更することはできません。

2 番組同時録画や、録画中に他の番組を視聴することができますか

本製品はデジタルチューナーを 1 つしか搭載していません。そのため、2 番組の同時録画や、録画しながら他の番組を視聴することはできません。

2 台以上 USB ハードディスクを接続することはできますか

本製品の USB コネクターに接続して使用できるハードディスクは 1 台です。
2 台以上の USB ハードディスクを同時接続して使用することはできません。2 台以上の USB ハードディスクを使用するときは、1 台ずつつなぎ換えてお使いください。

用語集

- **110 度 CS デジタル放送**

  東経 110 度に位置する通信衛星 (CS) を用いた衛星放送です。視聴にはデジタル放送用チューナーとパラボラアンテナが必要です。従来のアナログ地上波放送と比べ、高画質・高音質、多チャンネル、データ放送対応などの特長があります。

- **AVI**

  Microsoft 社が Windows 用に開発したデジタルファイルフォーマットです。AVI 形式 (コーデックを使用しない）で録画した場合、映像の圧縮を行わないため録画したファイルの容量が大きくなります（320 × 240 の解像度で録画した場合、30 分で約 5GB 必要です)。編集ソフトなどで簡単に加工できる特長を持ちますが、長時間録画を行うと映像と音声がずれることがあります。

- **B-CAS カード（ビーキャスカード：BS-Conditional Access Systems Card)**

  地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送などは、不正コピーを防ぐためにデータを暗号化しています。これを解除するためのデータが記録されたカードが B-CAS カードです。デジタル放送事業者が共同出資して設立した株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ (B-CAS) が発行しています。

- **BS デジタル放送**

  放送衛星 (BS) を使った､デジタル信号による放送です。視聴にはデジタル放送用チューナーとパラボラアンテナが必要です。
  従来のアナログ地上波放送と比べ、高画質・高音質、多チャンネル、データ放送対応などの特長があります。

- **CBR：Constant Bit Rate（固定ビットレート）**

  録画のとき常に同じビットレート（データ量）で録画します。そのため､動きの多いシーンなどでは動きの少ないシーンに比べ画質が落ちることがあります。また、動きが激しい場面では､ビットレートが足りない場合にブロックノイズが発生することがあります。

- **CQ：Constant Quality（固定品質）**

  映像品質を一定に保った状態で、ビットレートを自動的に変動させ録画します。
  映像によってビットレートが変動するため、録画する映像によって録画したファイルの容量が大幅に変わります（動きが多い映像ほど容量が大きくなります)。

- **CVBR：Constrain Variable Bit Rate（可変ビットレート）**

  あらかじめ設定した範囲のビットレート（データ量）で録画するモードです。動きが多いときはビットレートが高くなり、動きの少ないときはビットレートを低くして録画を行います。本製品では、（平均）ビットレート、最大ビットレートを指定でき、（平均）ビットレートの値を平均値として録画を行います。

- **DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol) サーバー**

  DHCP サーバーはネットワークに関連した情報（IP アドレス、デフォルト・ルーターの IP アドレス、ドメイン名など) を管理します。DHCP クライアントが起動すると、自動的に IP アドレスなどの情報が割り振られます。DHCP サーバーがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや本製品に、IP アドレスなどを手動で設定する必要がなくなります。

• DNS(Domain Name System)

コンピューター名やドメイン名を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステムです。

• IP(Internet protocol) アドレス

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。各コンピューターの住所を示す 整理番号のようなものです。ネットワーク機器の IP アドレスが重複していると正常に認識されません。

• MPEG

Moving Picture Expert Group（通称 MPEG フォーマットフォーラム）が定めた動画圧縮の国際規格です。MPEG フォーマットは、映像と音声を別々に圧縮する方法が採用されており、DVD-Video や Video-CD にも使われているフォーマットです。MPEG フォーマットには、「MPEG-1」「MPEG-2」などいくつの形式があります。

• MPEG-2

MPEG-1 フォーマットで蓄積されたノウハウを活かし、より画質を向上させたフォーマットです。DVD-Video の形式に用いられています。

• WMV

Windows Media 形式の映像ファイルです。

• アスペクト比

映像の縦と横の比率です。一般のテレビは 4:3、ワイドテレビは 16:9 になっています。また、通常、パソコンのディスプレイはアスペクト比 4:3 ですが、ディスプレイ、グラフィックボードにより 5:4 やワイド表示も可能です。

• ゲートウェイ

ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェアです。パケットが LAN の外に出て行くときに通過します。

• コーデック（Codec）

コーデックとはデータの符号化と復号を行うもので、もともとは通信用語の COder/DE-Coder を縮めたものです。映像や音声を圧縮・伸張するプログラムで、パソコンで映像を再生・保存するのに必要なものです。コーデックには様々な種類があり、映像ファイルによって必要なコーデックが異なります。もし、ファイルに適したコーデックがパソコンにない場合には、映像が表示されなかったり、音声が出力されないことがあります。

• サブネットマスク

IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値です。ルーターがパケットを送受信するために用います。

• 地上デジタル放送

地上デジタル放送とは電波塔から送られる地上波を利用したデジタル放送です。2003 年末に放送が開始され、2011 年には地上アナログ放送が終了し、地上デジタル放送へ移行する予定です。

• ビットレート

画質を決定する値です。ビットレートが高くなると画質が向上されますが、録画ファイルの容量が大きくなります。

チャンネル一覧表

「かんたん初期設定」で地域を選ぶと、下の表のように設定されます。
ただし、他の地域の放送を受信した場合は、異なる設定になる場合があります。

お住まいの地域		リモコン番号と放送局名
北海道	旭川	HBC 旭川 (1)、NHK 教育・旭川 (2)、NHK 総合・旭川 (3)、STV 旭川 (5)、HTB 旭川 (6)、TVH 旭川 (7)、UHB 旭川 (8)
	釧路	HBC 釧路 (1)、NHK 教育・釧路 (2)、NHK 総合・釧路 (3)、STV 釧路 (5)、HTB 釧路 (6)、TVH 釧路 (7)、UHB 釧路 (8)
	北見	HBC 北見 (1)、NHK 教育・北見 (2)、NHK 総合・北見 (3)、STV 北見 (5)、HTB 北見 (6)、TVH 北見 (7)、UHB 北見 (8)
	帯広	HBC 帯広 (1)、NHK 教育・帯広 (2)、NHK 総合・帯広 (3)、STV 帯広 (5)、HTB 帯広 (6)、TVH 帯広 (7)、UHB 帯広 (8)
	札幌	HBC 札幌 (1)、NHK 教育・札幌 (2)、NHK 総合・札幌 (3)、STV 札幌 (5)、HTB 札幌 (6)、TVH 札幌 (7)、UHB 札幌 (8)
	函館	HBC 函館 (1)、NHK 教育・函館 (2)、NHK 総合・函館 (3)、STV 函館 (5)、HTB 函館 (6)、TVH 函館 (7)、UHB 函館 (8)
	室蘭	HBC 室蘭 (1)、NHK 教育・室蘭 (2)、NHK 総合・室蘭 (3)、STV 室蘭 (5)、HTB 室蘭 (6)、TVH 室蘭 (7)、UHB 室蘭 (8)
東北	青森	RAB 青森放送 (1)、NHK 教育･青森 (2)、NHK 総合･青森 (3)、青森朝日放送 (5)、ATV 青森テレビ (6)
	岩手	NHK 総合・盛岡 (1)、NHK 教育・盛岡 (2)、テレビ岩手 (4)、岩手朝日テレビ (5)、IBC テレビ (6)、めんこいテレビ (8)
	宮城	TBC テレビ (1)、NHK 教育・仙台 (2)、NHK 総合・仙台 (3)、ミヤギテレビ (4)、KHB 東日本放送 (5)、仙台放送 (8)
	秋田	NHK 総合･秋田 (1)、NHK 教育･秋田 (2)、ABS 秋田放送 (4)、AAB 秋田朝日放送 (5)、AKT 秋田テレビ (8)
	山形	NHK 総合･山形 (1)、NHK 教育･山形 (2)、YBC 山形放送 (4)、YTS 山形テレビ (5)､テレビユー山形 (6)､さくらんぼテレビ (8)
	福島	NHK 総合･福島 (1)、NHK 教育･福島 (2)、福島中央テレビ (4)、KFB 福島放送 (5)、テレビユー福島 (6)、福島テレビ (8)

次のページへ続く

お住まいの地域		リモコン番号と放送局名
関東	茨城	NHK 総合・水戸 (1)、NHK 教育・東京 (2)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS(6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
	栃木	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、とちぎテレビ (3)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS(6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
	群馬	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、群馬テレビ (3)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS(6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
	埼玉	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、テレ玉 (3)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS(6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
	千葉	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、ちばテレビ (3)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS(6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
	東京	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS(6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、TOKYO MX(9)、放送大学 (12)
	神奈川	NHK 総合・東京 (1)、NHK 教育・東京 (2)、tvk(3) 、日本テレビ (4)、テレビ朝日 (5)、TBS(6)、テレビ東京 (7)、フジテレビジョン (8)、放送大学 (12)
甲信越	新潟	NHK 総合・新潟 (1)、NHK 教育・新潟 (2)、TeNY テレビ新潟 (4)、新潟テレビ２１(5)、BSN(6)、NST(8)
	山梨	NHK 総合・甲府 (1)、NHK 教育・甲府 (2)、YBS 山梨放送 (4)、UTY(6)
	長野	NHK 総合・長野 (1)、NHK 教育・長野 (2)、テレビ信州 (4)、ABN 長野朝日放送 (5)、SBC 信越放送 (6)、NBS 長野放送 (8)
中部	富山	KNB 北日本放送 (1)、NHK 教育・富山 (2)、NHK 総合・富山 (3)、チューリップテレビ (6)、BBT 富山テレビ (8)
	石川	NHK 総合・金沢 (1)、NHK 教育・金沢 (2)、テレビ金沢 (4)、北陸朝日放送 (5)、MRO(6)、石川テレビ (8)
	福井	NHK 総合・福井 (1)、NHK 教育・福井 (2)、FBC テレビ (7)、福井テレビ (8)
	静岡	NHK 総合・静岡 (1)、NHK 教育・静岡 (2)、静岡第一テレビ (4)、静岡朝日テレビ (5)、SBS(6)、テレビ静岡 (8)
	愛知	東海テレビ (1)、NHK 教育・名古屋 (2)、NHK 総合・名古屋 (3)、中京テレビ (4)、CBC(5)、メ～テレ (6)、テレビ愛知 (10)
	三重	東海テレビ (1)、NHK 教育・名古屋 (2)、NHK 総合・津 (3)、中京テレビ (4)、CBC(5)、メ～テレ (6)、三重テレビ (7)
	岐阜	東海テレビ (1)、NHK 教育・名古屋 (2)、NHK 総合・岐阜 (3)、中京テレビ (4)、CBC(5)、メ～テレ (6)、岐阜テレビ (8)

次のページへ続く

お住まいの地域		リモコン番号と放送局名
近畿	滋賀	NHK 総合・大津 (1)、NHK 教育・大阪 (2)、BBC びわ湖放送 (3)、MBS 毎日放送 (4)、ABC テレビ (6) 関西テレビ (8)、よみうりテレビ (10)、
	京都	NHK 総合･京都 (1)、NHK 教育･大阪 (2)、MBS 毎日放送 (4)、KBS 京都 (5)、ABC テレビ (6)、関西テレビ (8)、よみうりテレビ (10)、
	大阪	NHK 総合･大阪 (1)、NHK 教育･大阪 (2)、MBS 毎日放送 (4)、ABC テレビ (6)、テレビ大阪 (7)、関西テレビ (8)、よみうりテレビ (10)、
	兵庫	NHK 総合・神戸 (1)、NHK 教育・大阪 (2)、サンテレビ (3)、MBS 毎日放送 (4)、ABC テレビ (6)、関西テレビ (8)、よみうりテレビ (10)、
	奈良	NHK 総合･奈良 (1)、NHK 教育･大阪 (2)、MBS 毎日放送 (4)、ABC テレビ (6)、関西テレビ (8)、奈良テレビ (9)、よみうりテレビ (10)、
	和歌山	NHK 総合･和歌山 (1)、NHK 教育･大阪 (2)、MBS 毎日放送 (4)、テレビ和歌山 (5)、ABC テレビ (6) 関西テレビ (8)、よみうりテレビ (10)、
中国	鳥取	日本海テレビ (1)、NHK 教育・鳥取 (2)、NHK 総合・鳥取 (3)、BSS テレビ (6)、山陰中央テレビ (8)
	島根	日本海テレビ (1)、NHK 教育・松江 (2)、NHK 総合・松江 (3)、BSS テレビ (6)、山陰中央テレビ (8)
	岡山	NHK 総合・岡山 (1)、NHK 教育・岡山 (2)、RNC 西日本テレビ (4)、KSB 瀬戸内海放送 (5)、RSK テレビ (6)、テレビせとうち (7)、OHK テレビ (8)
	広島	NHK 総合・広島 (1)、NHK 教育・広島 (2)、RCC テレビ (3)、広島テレビ (4)、広島ホームテレビ (5)、TSS(8)
	山口	NHK 総合･山口 (1)、NHK 教育･山口 (2)、TYS テレビ山口 (3)、KRY 山口放送 (4)、YAB 山口朝日 (5)
四国	徳島	四国放送 (1)、NHK 教育・徳島 (2)、NHK 総合・徳島 (3)
	香川	NHK 総合・高松 (1)、NHK 教育・高松 (2)、RNC 西日本テレビ (4)、KSB 瀬戸内海放送 (5)、RSK テレビ (6)、テレビせとうち (7)、OHK テレビ (8)
	愛媛	NHK 総合・松山 (1)、NHK 教育・松山 (2)、南海放送 (4)、愛媛朝日 (5)、あいテレビ (6)、テレビ愛媛 (8)
	高知	NHK 総合・高知 (1)、NHK 教育・高知 (2)、高知放送 (4)、テレビ高知 (6)、さんさんテレビ (8)

次のページへ続く

お住まいの地域		リモコン番号と放送局名
九州 / 沖縄	福岡	KBC 九州朝日放送 (1)、NHK 教育・福岡 (2)、NHK 教育・北九州 (2)、NHK 総合・福岡 (3)、NHK 総合・北九州 (3)、RKB 毎日放送 (4)、FBS 福岡放送 (5)、TVQ 九州放送 (7)、TNC テレビ西日本 (8)
	佐賀	NHK 総合・佐賀 (1)、NHK 教育・佐賀 (2)、STS サガテレビ (3)
	長崎	NHK 総合・長崎 (1)、NHK 教育・長崎 (2)、NBC 長崎放送 (3)、NIB 長崎国際テレビ (4)、NCC 長崎文化放送 (5)、KTN テレビ長崎 (8)
	熊本	NHK 総合・熊本 (1)、NHK 教育・熊本 (2)、RKK 熊本放送 (3)、KKT くまもと県民 (4)、KAB 熊本朝日放送 (5)、TKU テレビ熊本 (8)
	大分	NHK 総合・大分 (1)、NHK 教育・大分 (2)、OBS 大分放送 (3)、TOS テレビ大分 (4)、OAB 大分朝日放送 (5)
	宮崎	NHK 総合・宮崎 (1)、NHK 教育・宮崎 (2)、UMK テレビ宮崎 (3)、MRT 宮崎放送 (6)
	鹿児島	MBC 南日本放送 (1)、NHK 教育・鹿児島 (2)、NHK 総合・鹿児島 (3)、KYT 鹿児島読売テレビ (4)、KKB 鹿児島放送 (5)、KTS 鹿児島テレビ (8)
	沖縄	NHK 総合・那覇 (1)、NHK 教育・那覇 (2)、RBC テレビ (3)、QAB 琉球朝日放送 (5)、沖縄テレビ (OTV)(8)

仕様

メモ　最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

チューナー	
受信方式	地上デジタル放送、BS 放送、110 度 CS 放送
アンテナ入力	F 型コネクター (入力インピーダンス 75 Ω) （コンバータ電源出力 DC15V 最大 4W）
対応機能	ハイビジョン出力、CATV パススルー、字幕放送、 番組表（EPG）、データ放送 ※双方向サービスには対応しません。
LAN インターフェース	
対応規格	IEEE802.3/IEEE802.3u 準拠 （10BASE-T/100-BASE-TX）
転送速度	10/100Mbps（オートセンス）
コネクター形状	RJ-45 型 8 極コネクター
外部出力	
コンポジットビデオ	RCA ピンジャック（黄）
HDMI	HDMI コネクター
D4 ビデオ	MDR14 ピンコネクター
アナログオーディオ	R:RCA ピンジャック（赤） L：RCA ピンジャック（白）
デジタルオーディオ	光角型
外部入力	
USB 規格	Universal Serial Bus Revision2.0/1.1
USB コネクター	シリーズ A(前面× 1、背面× 1)
MediaServer2	
対応パソコン	DOS/V 機（OADG 仕様）
対応 OS	Windows Vista（32bit）、Windows XP、 Windows 2000 SP4 以降
その他	
使用電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	18W（BS アンテナ給電時 23W、省電力モード時 1W)
動作環境	温度：0 ～ 40℃、湿度：10 ～ 50%（結露なきこと）
外形寸法	210(W)x55(H)x215(D)mm（突起物含まず）
重量	約 1.25kg

再生できるファイルの種類

本製品で再生できるファイルの種類は、次の通りです。

対応動画 フォーマット形式 (※1、2)	[MPEG-1] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 5.5Mbps [MPEG-2] ・最高解像度 1440x1080 ・対応最高ビットレート 25Mbps ・対応条件 main profile@H14 まで対応 [MPEG-4] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 5Mbps [H.264] ・最高解像度 1920x1080 ・対応最高ビットレート 17Mbps ・対応条件 H.264/AVC main and high profile Level4.1 まで対応 [WMV9] ・最高解像度 1920x1080 ・対応最高ビットレート 8Mbps ・対応条件：WMV HD まで対応 [Xvid] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 3Mbps
対応音声 フォーマット形式 (※1、2、3)	[AAC-LC/HE-AAC] ・サンプリングレート：32/44.1/48 kHz ・対応条件：ISO/IEC 13818-7 [MPEG-1Layer 1,2,3(MP3)] ・サンプリングレート：32/44.1/48kHz ・対応条件：ISO/IEC-11172-3 [Dolby Digital(AC-3)] ・サンプリングレート：48kHz ・対応条件：ATSC-A52/a [WMA](※4) ・サンプリングレート：32/44.1/48kHz
対応画像 フォーマット形式	jpeg(ベースライン jpeg 対応 / プログレッシブ jpeg 対応)、bmp、png、gif
認識できる ファイル拡張子	動画：mpg,mpeg,vob,mp4,wmv,asf,m2t,m2ts,mts,mov,3gp,3g2,mkv,iso,m2p,ts,vro,avi 音楽：wav,mp3,wma,m4a 写真：jpg,jpeg,png,bmp,gif
接続可能な USB 機器	マスストレージクラスに対応した以下の USB 機器 (※5) ハードディスク、フラッシュメモリー、カードリーダ、 デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ

※1：ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。
※2：著作権保護されたコンテンツを再生する場合、対応最高ビットレートが低下することがあります。
※3：音声が 5.1ch の場合、2ch にダウンサンプリングされます。
※4：WMA Lossless のコンテンツ再生には対応しておりません。
※5：FAT または FAT32、NTFS でフォーマットされた機器。マスストレージ対応機器。ただし、お使いの USB 機器によっては正常に認識できないことがあります。

ドルビーについて
Dolby、ドルビー及びダブルＤ記号はドルビーラボラトリーズの商標です。本製品は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

マクロビジョン社の著作権保護技術について
本商品には、米国の特許及びその他の知的財産権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。この著作権保護技術を使用する場合には、マクロビジョン社の許可が必要です。またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の限られた視聴用の使用に制限されています。本商品を分解したり改造することも禁止されています。

LT-H90DTV シリーズユーザーズマニュアル
2009 年 5 月 15 日 第 4 版発行
発行　　株式会社バッファロー